目　次

第 1 章 製品の概要 …… 1
1.1 前面パネル …… 1
1.2 後面パネル …… 1

第 2 章 DVR の接続方法 …… 2
2.1 接続図 …… 2
2.2 電源接続 …… 2
2.3 付属マウスの使用 …… 3

第 3 章 初回電源投入時の操作 …… 3
3.1 ログイン …… 3

第 4 章 メニュー操作 …… 4
4.1 メインメニュー画面（主に設定変更） …… 4
4.2 クリックツールバー …… 5
4.3.A チャンネル配置変更 …… 6
4.3.B ターゲット (本機非対応) …… 6
4.3.C ライブビュー切替 …… 6
4.3.D 再生メニュー …… 6
4.3.E ファイル管理　エクスポート (バックアップ) …… 8
4.3.F 知能分析 (本機非対応) …… 10
4.3.G チャンネル設定 …… 11
4.3.H ストレージ …… 16
4.3.I システム …… 18
4.3.J メンテナンス …… 27
4.3.K　(本機非対応) …… 33
4.3.L　(本機非対応) …… 33
4.3.M　アラーム (本機非対応) …… 33
4.3.N　バックアップの進行状況が確認できます …… 33
4.3.O　電源 …… 33

ご注意　電源部分は防水処理が必要です

防水仕様のカメラでも、配線の接続部分や
電源アダプターは防水仕様ではないため、
屋外に設置する際、電源部分は防水処理をして
いただく必要があります。
防水処理無しでの設置はカメラの故障の原因になり
ますので、必ず電源ボックスや屋外用コンセントを
用いて、水に触れないようにして下さい。

防水処理の成功例

↑水が入らないよう接続部分が下にある。

防水処理の失敗例

↑接続部分がカメラより上だと水が入る可能性があります。

防水処理に必要な物の一例
（全て別途お客様側でご用意下さい）

PoEの電源ボックス使用例

同軸ケーブルの電源ボックス使用例

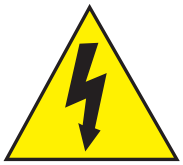
ボックス内に電源アダプターを収める場合は
大きめのボックスをご用意ください。

ケーブルの接続部分も防水処理！

ケーブルのコネクター部分を市販の自己融着テープで接続部分を巻いて下さい。
※防水性能の無いビニールテープ等を使用すると、経年劣化により浸水・錆等が発生する
恐れがあります。

市販の自己融着テープを用意します → **❷ 1箇所ずつテープで巻きます** → **❸ 防水処理完了**

安全上の注意



ご注意

感電の危険があります

ご注意：
感電の危険を避けるため、本装置を雨や水分にさらさないでください。
製品に付属の電源に接続して本装置を操作してください。
当社は当製品の使用によって生じた損害に対して、仮にその損害の可能性を指摘されていた場合でも一切責任は負いかねます。

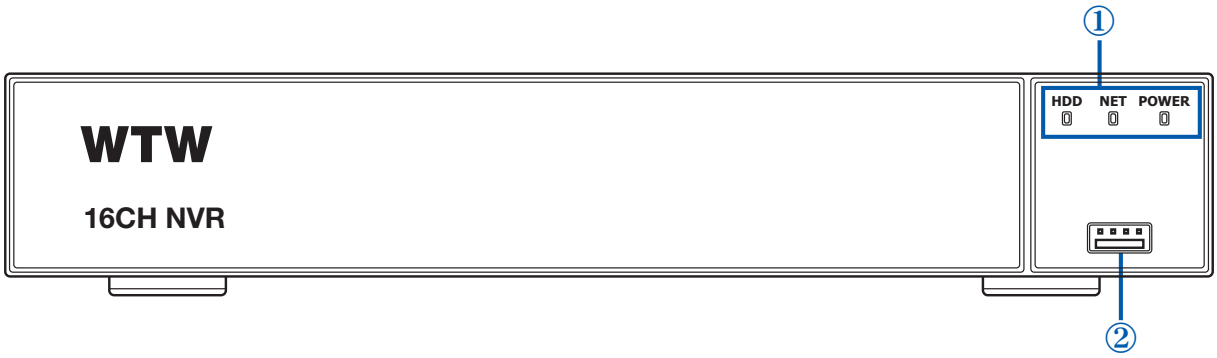
正三角形の中に稲妻形の矢印があるマークは、製品内部の絶縁されていない箇所に“危険な電圧”が存在しており、人体に感電をもたらすほどの数値であることを警告するものです。

正三角形の中に感嘆符があるマークは、装置付属の文書内に重要な操作またはお手入れ（修理）に関するユーザーへの注意事項があることを示しています。

* 雷が鳴った時本体、電源プラグなどには触れないでください。感電の原因となります。
* 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
* 強い光の当たる場所と熱器具に近づけないでください。
* 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気、水滴が当たるような場所に置かないでください。
* 周囲の温度が高い場合もしくは湿度が高い場合、温度が下がった際に内部で結露することがありますのでご注意ください。
* 導電性の物質に近づけないでください。
* 接続する際、システムに電源を入れないでください。
* ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
* テレビ、ラジオなどの電気製品に近づけないでください。感電の原因となります。
* この機器を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。
* 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしないでください。
* 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。
* モーターや磁界を発生するものの近くに設置しないでください。電波障害で電波が邪魔される場合があります。

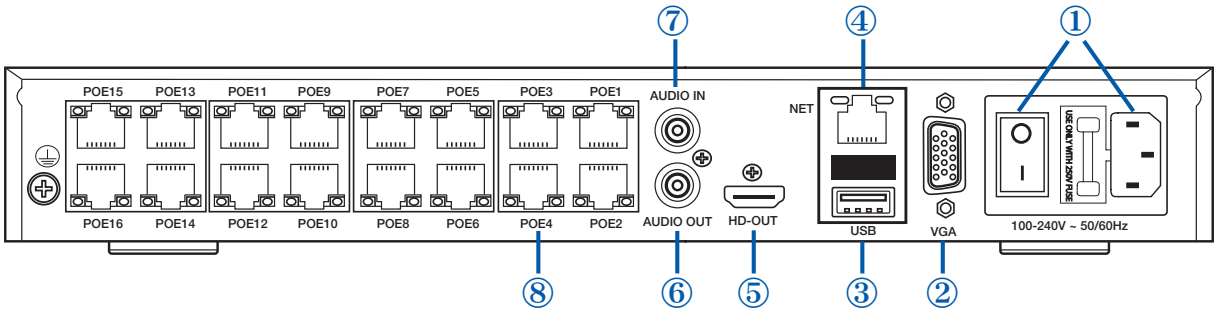
第 1 章　製品の概要

1.1 前面パネル



①	**HDD**	HDD を認識すると青く点灯します
	NET	ネットワーク接続時すると緑色で点滅します
	POWER	電源が入ると赤く点灯します
②	**USB ポート**	マウス･USB フラッシュメモリが接続できます

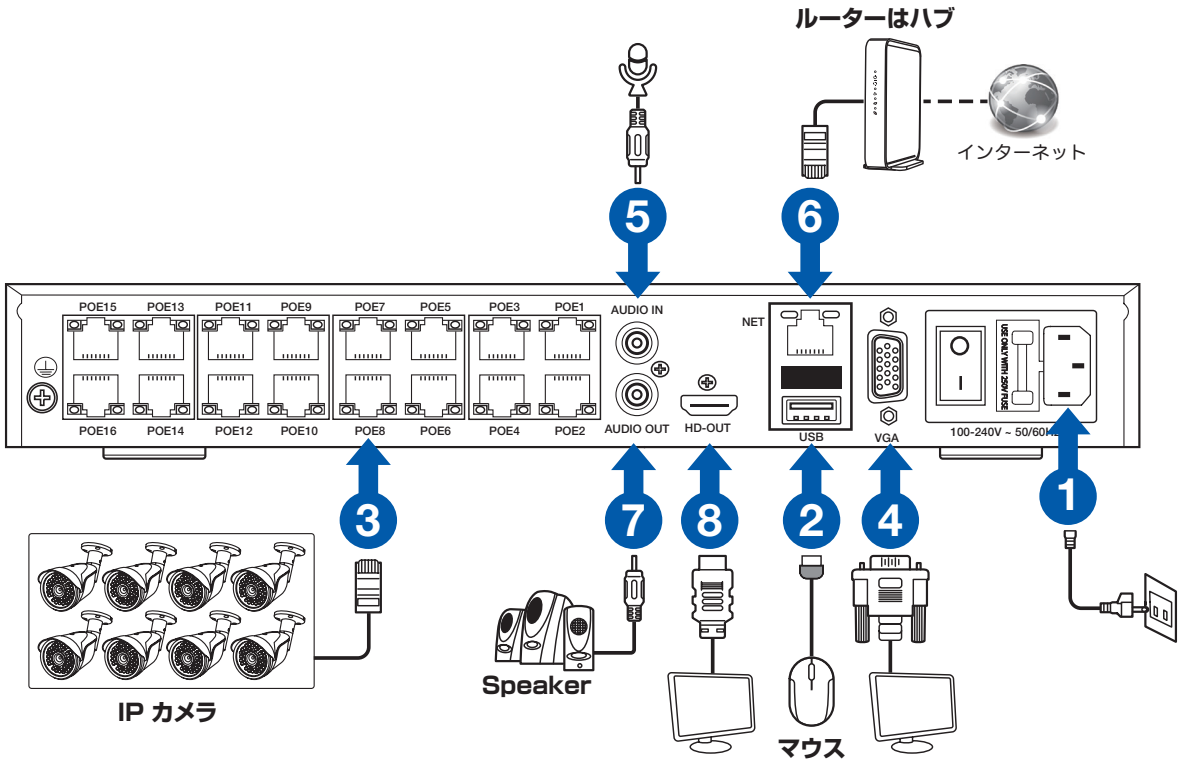
1.2 後面パネル



①	**電源ジャック**	電源スイッチと電源コード差し込み口
②	**VGA 端子**	D-SUB15P PC 用モニターに出力出来ます
③	**USB 端子**	マウス･USB フラッシュメモリが接続できます
④	**LAN ポート**	LAN ケーブルを接続してインターネットに接続します
⑤	**HDMI 端子**	HDMI 端子でモニターに出力します
⑥	**音声出力**	音声出力が出来ます
⑦	**音声入力**	マイクの音声入力ができます
⑧	**映像入力**	映像入力 1~16CH にカメラを接続します

第 2 章　DVR の接続方法

2.1 接続図

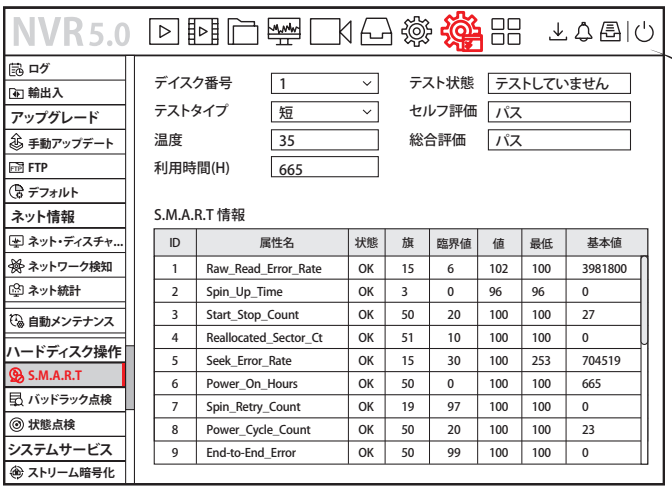


メモ : 上の図は参照です。実際の接続は、機種によって異なる場合があります。

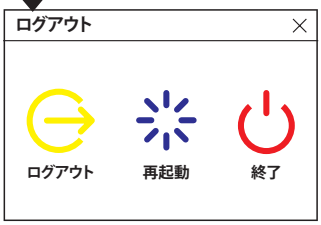
2.2 電源接続

【注意】	電源を入れる際は必ず付属の電源コードを使用してください

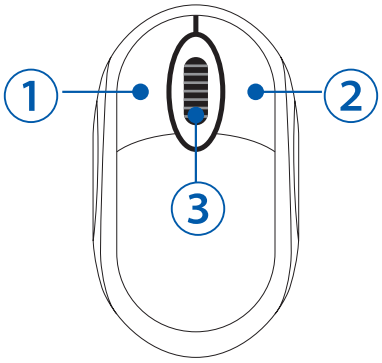
電源を切る際



【 ⏻ 】を押し、ログアウトから【終了】を左クリックし電源を切ってから電源コードを抜いてください



2.3 付属マウスの使用



1. 左クリック :
- クリックしてメニューオプションを選択します。
- 分割画面で、チャンネルをダブルクリックするとフルスクリーンで表示されます。
  チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。
- ライブ画面のチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが開きます。
- メニューモードでスライダとスケールをドラッグします。

2. 右クリック :
- メニュー画面等を開くのに使用します。

3. スクロールウィール :
- メニューで、スクロールしてメニューコンテンツを上下に移動します。

第 3 章　初回電源投入時の操作

3.1 ログイン

初期設定パスワードは、【 12345 】です。
【 日本語 】を確認ください
【 ログイン 】左クリックします。
簡単説明書 P.03 参照ください

５回以上入力を失敗すると、一時的にロックがかかります
セキュリティ面の強化の為、初期パスワードは変更して、
運用してください。

変更方法は簡単取扱説明書の P12 をご参照ください。

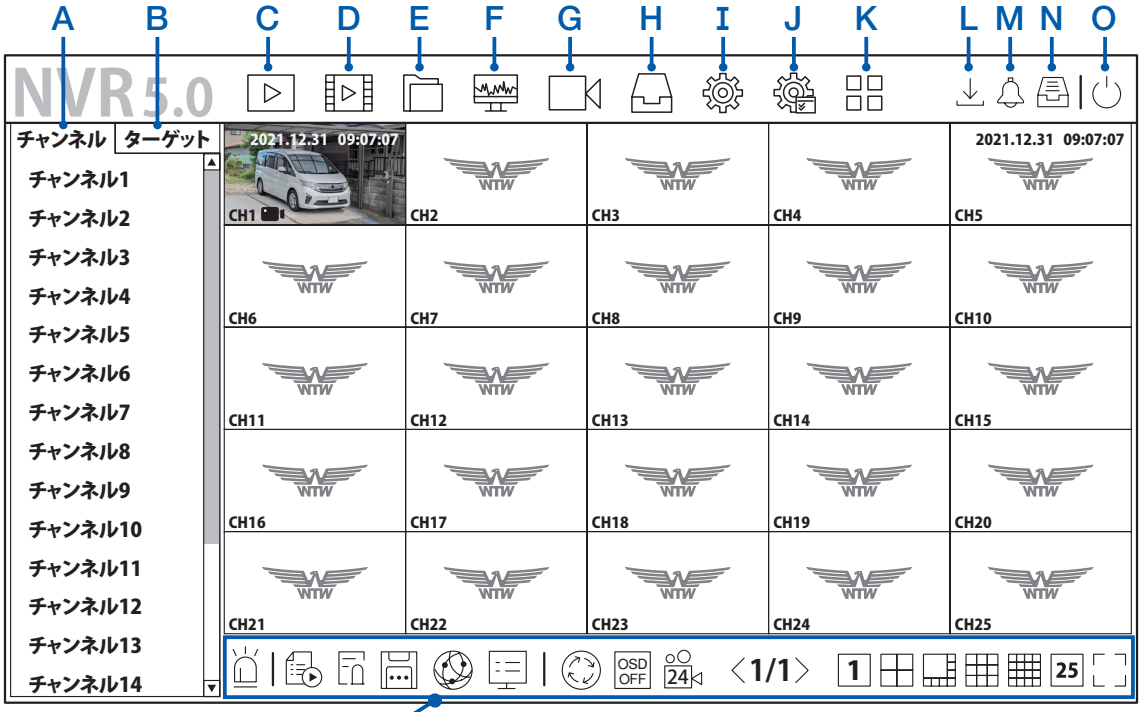
初期パスワード:【12345】

第 4 章　メニュー操作

4.1 メインメニュー画面（主に設定変更）

ユーザーログインを行った後、画面上で右クリックすると以下の画面（メインメニュー）表示されます。こちらの画面上で各設定を行ってください。

A : チャンネル配置変更	P6	**F:** 本機非対応		**K :** 本機非対応	
B : 本機非対応		**G:** チャンネル設定	P11	**L :** 本機非対応	
C : ライブビュー切替	P6	**H:** ストレージ･録画スケジュール設定	P16	**M :** 本機非対応	
D : 再生メニュー	P6	**I :** システム設定	P18	**N :** バックアップ	
E : ファイル管理(バックアップ)	P8	**J :** メンテナンス	P27	**O :** 電源	

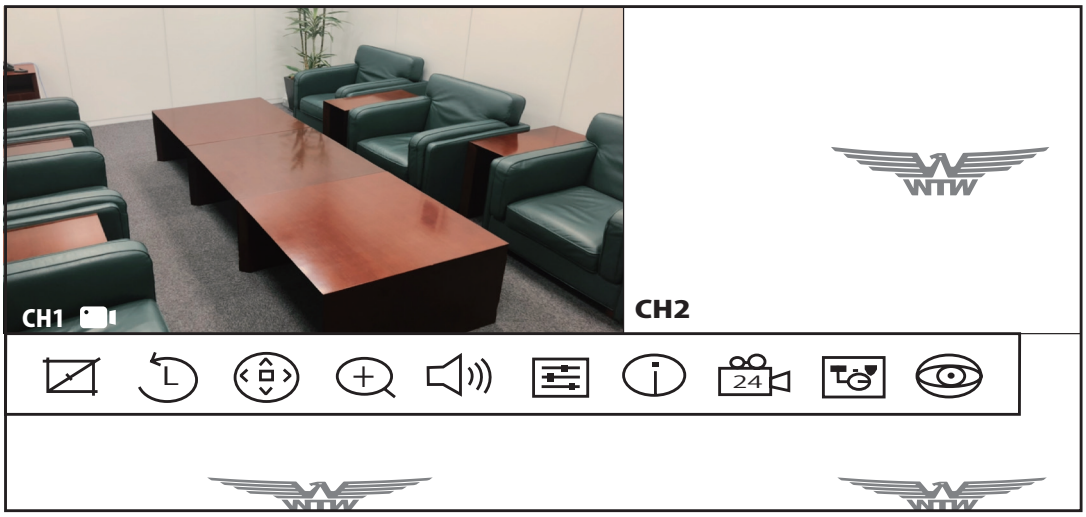


各ステータス情報

	アラーム状況表示		手動録画の ON/OFF
	録画状況の表示	1	1画面表示
	設定アラームの内容		4分割表示
	HDD 情報		8 分割表示
	ネットワークステータスの表示		9 画面表示
	システム情報		16 画面表示
	シーケンシャル設定（スイッチング）	25	25 画面表示
OSD OFF	チャンネル表示の ON/OFF		フルスクリーン（メニュー非表示画面）

4.2 クリックツールバー

ライブ画面では、接続されているカメラ上でマウスの左ボタンをクリックすると、クイックツールバーが表示されます。



	キャプチャー：現在のライブ画面のスクリーンショットを撮ります
	インスタント再生：5 分前の記録映像を確認できます
	PTZ：遠隔操作でカメラの首振りを制御します (カメラが対応している場合のみ)
	ズーム：映像をデジタルズームします マウスのホイールを回せば倍率が変わります 位置は、PIP 内の赤枠をドラックすることで変わります
	オーディオ：マイク内臓カメラの音声を再生します
	イメージ：映像の表示
	情報：カメラのコーデックが確認できます
	全日録画オン：カメラの録画をストップします
	メインスクリーン入り：映像の表示解像度を変更します。(変更後上記の「情報」から変更された解像度が確認できます)
	こちらは対応しておりません

4.3.A チャンネル配置変更

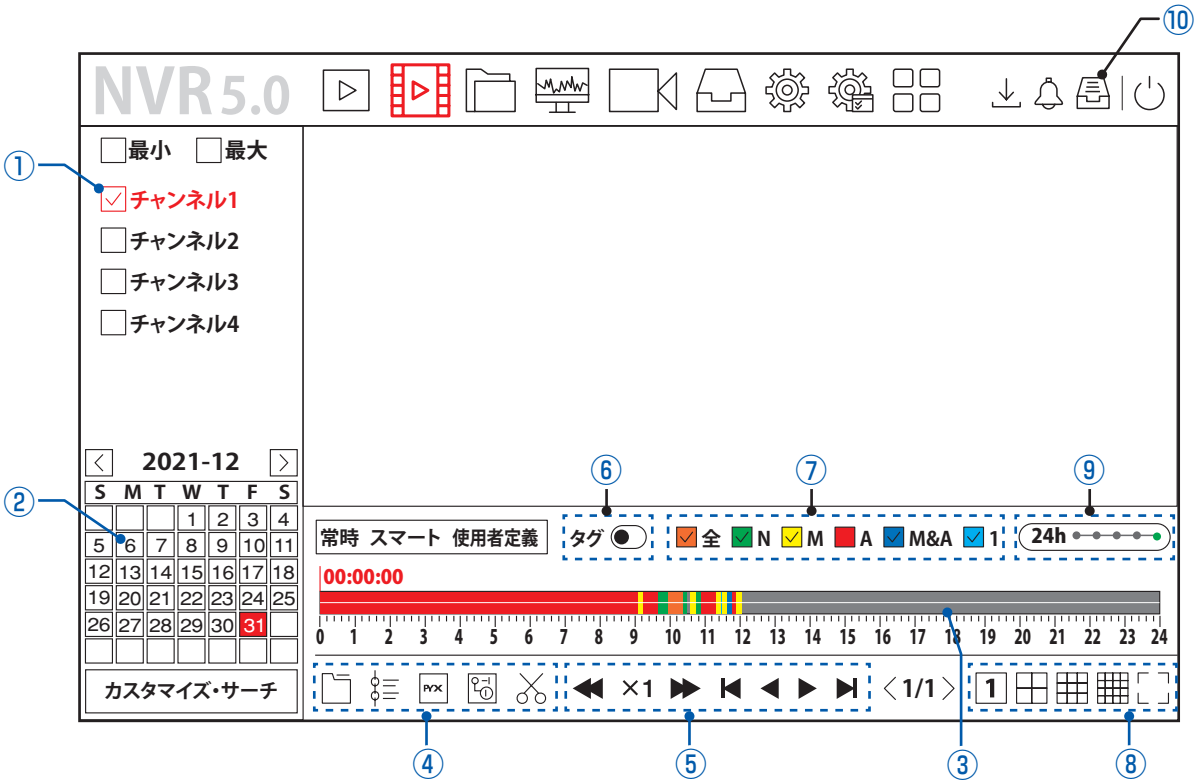
各チャンネルの映っている配置を変更ができます。
変更したい場所の画面を左クリックすると、画面が赤枠で囲まれた状態 (画面選択) になるので
マウスで画面をドラックし、希望の場所に移動させてください。

4.3.B ターゲット　本機非対応。

4.3.C ライブビュー切替　設定項目からライブ映像に切替ます。

4.3.D 再生メニュー

メインメニュー画面の上記アイコンをクリックすると以下の再生メニューが表示されますので、
こちらのメニューから再生を行ってください。(簡単説明書 P7 をご参照ください)



① **表示チャンネル**
再生するチャンネルにチェックを入れてください。
【 注意 】500 万 /800 万画素で再生時は、1ch づつで複数同時の再生はできません。

② **カレンダー検索**
再生を行う日を選択してください。
録画データの存在する日には ● 印が表示されます。

③ **タイムライン検索**
マウスを合わせると赤文字で時間が表示されます。再生したい時間で左クリックすると再生が開始されます。再生中に他の時間帯も選択可能です。
・常時録画 → 緑色表示　　・モーション録画 → 黄色表示

④ **クリップ機能（バックアップ）**　簡単説明書の P09 をご参照ください

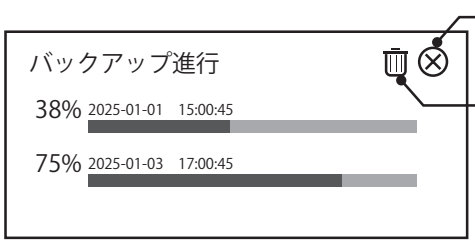
クリッピングモードでは画面を見ながらバックアップ範囲を選択できます。

クリップモード切替　：クリップモードと通常モードの切替

クリップ時間　：バックアップするデーターの開始時間と終了時間が入力可能

クリップエクスポート　：本体に接続された USB フラッシュメモリーにバックアップを開始

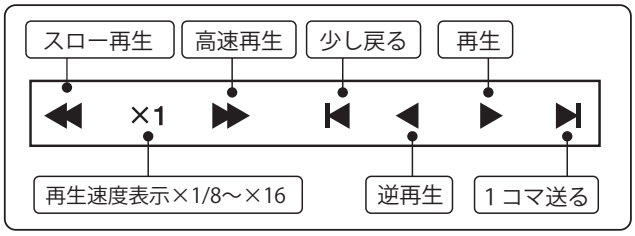
⑩ バックアップの進行状況 アイコン【　】（バックアップ）をクリックすると表示されます



こちらのメニューを閉じます

バックアップ進行履歴を削除します。
※履歴を削除してもデータファイルは削除されません

⑤ **再生ツール**



早戻しをする際は「逆再生」をした状態で
「高速再生」を行うと早戻しとなります

⑥ 本機非対応

⑦ **録画種類の切替**

■全：全ての録画種類を表示 / ■N：常時録画の表示 / ■M：モーション録画の表示
■A：本機非対応 / ■M & A：本機非対応 / ■ I：本機非対応

⑧ **画面分割表示**

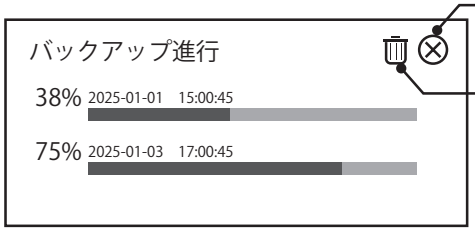
1 1画面表示 / 4分割画面表示 / 9分割画面表示 /
16 分割画面表示 / 全画面表示

⑨ **タイムライン拡大表示**

選択した時間分がタイムライン表示されます。より細かな再生を行いやすくなります。

⑩ **バックアップ (エクスポート) 状況確認**

こちらの状況確認では、再生メニューのクリップモードからのバックアップと、ファイル管理の
エクスポート (バックアップ) の進行状況と履歴が表示されます。



こちらのメニューを閉じます

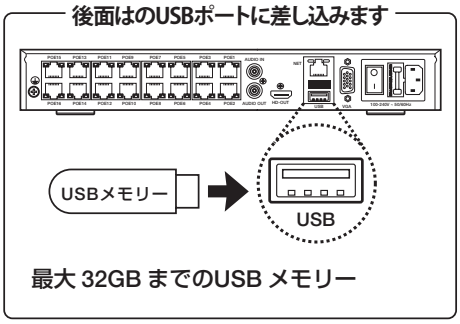
バックアップ進行履歴を削除します。
※履歴を削除してもデータファイルは削除されません

4.3.E ファイル管理　エクスポート (バックアップ)

本機ではファイル単位でのエクスポート（バックアップ）が可能となっております。

こちらの機能ではサムネイル形式でのファイル選択が可能です。

エクスポートする際はまず、右図のように、USB フラッシュメモリーをご用意いただき、こちらの本機に接続した状態で操作を行ってください。

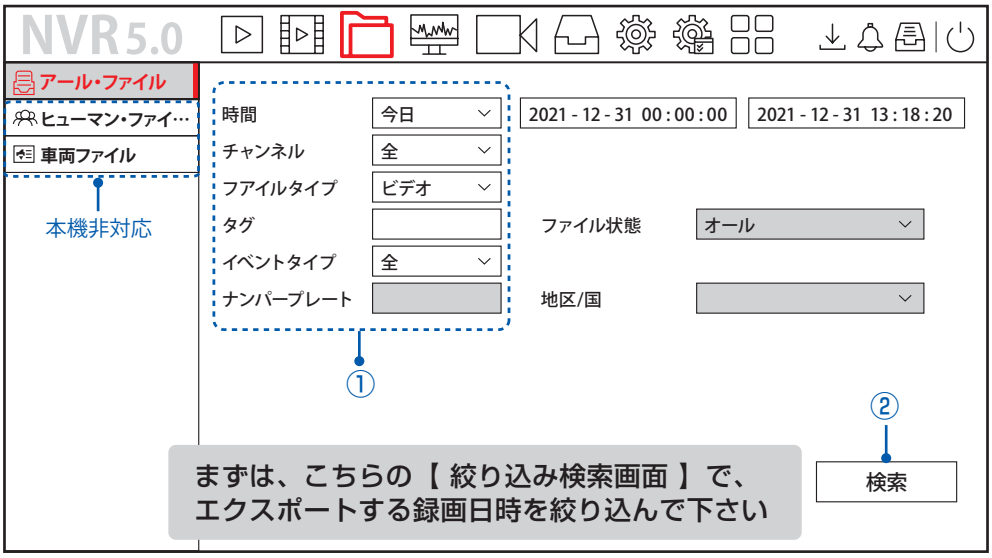


ワンポイントアドバイス

●大容量USBメモリーにご注意を！！

本機では、最大 32GB の USB メモリーまで対応しております。USB2.0 を推奨します。
また使用可能な USB メモリーの対応されたシステムデータは FAT32 のみです。

メインメニュー画面のファイル管理アイコンを左クリックすると以下のファイル管理メニューが表示されます。このメニュー内の操作でエクスポート（バックアップ）が可能となります。

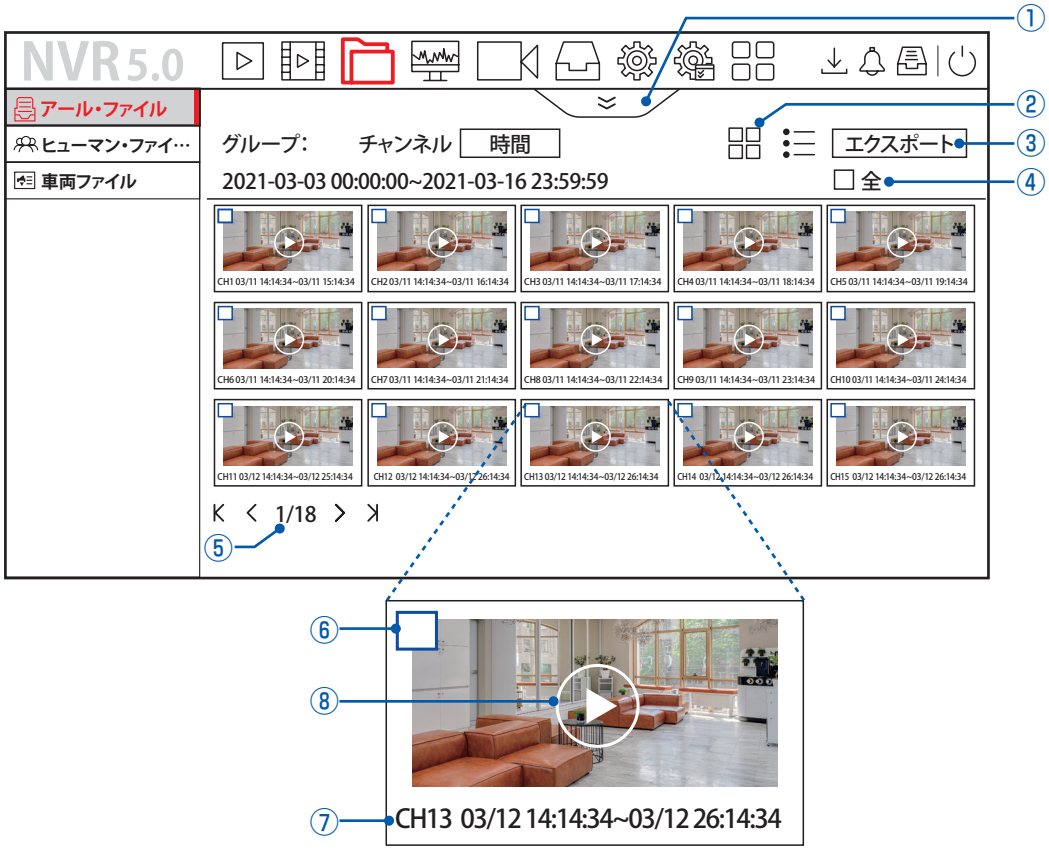


①ファイルの絞り込み

時間　　：録画された日の選択
チャンネル　　：エクスポートしたいチャンネルの選択
ファイルタイプ　：ビデオ → 動画のエクスポート・静止画 → 静止画のエクスポート
タグ　　：本機非対応
イベントタイプ　：録画種類での選択
ナンバープレート：本機非対応
ファイル状態　：本機非対応
地図 / 国　　：本機非対応

②ファイル検索開始

上記でファイルの絞り込みをし、②の検索ボタンを左クリックすると次ページの画面が表示されるので、ファイルを選択してエクスポートしてください。



①絞り込み検索の画面に戻る
②タイトル表示とサムネイル画像表示の切替
③エクスポート開始（ファイル保存）
④全ファイルの選択
⑤ページ切り替え
⑥ファイルの選択
⑦チャンネル・日・時間
⑧簡易再生

【手順１】⑦の部分チャンネルと日時を確認し、エクスポートするファイルの⑥の部分を左クリックしてチェックを入れてください。

ワンポイントアドバイス

●簡易再生で確認可能

⑧の部分を左クリックすると簡易的に再生を行うことが可能となっておりますので、確認用にご活用ください。

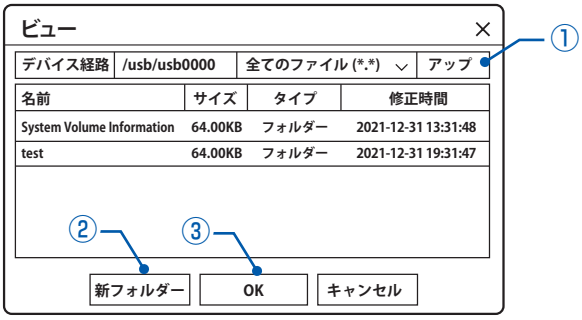
●④の全選択ボタン時は、再度選択ファイルのご確認をお願いします

④の部分にチェックを入れると画面表示されている分以外の別ページ分も選択されますので、ご確認いただきエクスポートの作業を行ってください

【手順2】エクスポートするファイルにチェックを入れたら、③のエクスポートボタンを左クリックしてください。次ページの様な画面が表示されます

【手順3】以下の画面で保存するフォルダーをダブルクリックしていてください。

フォルダーの階層を上げる場合は、①の
アップボタンを左クリックしてください



ワンポイントアドバイス

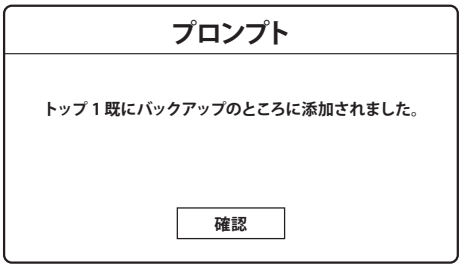
●身に覚えの無いフォルダーやファイルがある

Windows PC や MAC PC 上では表示がされないフォルダーが表示される場合がございますが、
ご利用中の USB フラッシュメモリーの動作上必要な物な場合がございますので
そういったフォルダーの中にはエクスポートしないでください

●新フォルダーを作成するとわかりやすいです

②の新フォルダーを左クリックすると、新しいフォルダーを作成できます。
このメニュー上でフォルダーを作成し、その内部にエクスポートする方法をおすすめしております

【手順4】エクスポートするフォルダーが選択されている状態で、③の OK ボタンを左クリックしてください。エクスポートが開始されると以下の画像が表示されますので「確認」を左クリックしてください。



【手順5】エクスポートの進行状況は、P6 の⑩バックアップ (エクスポート) 状況確認でご確認ください。

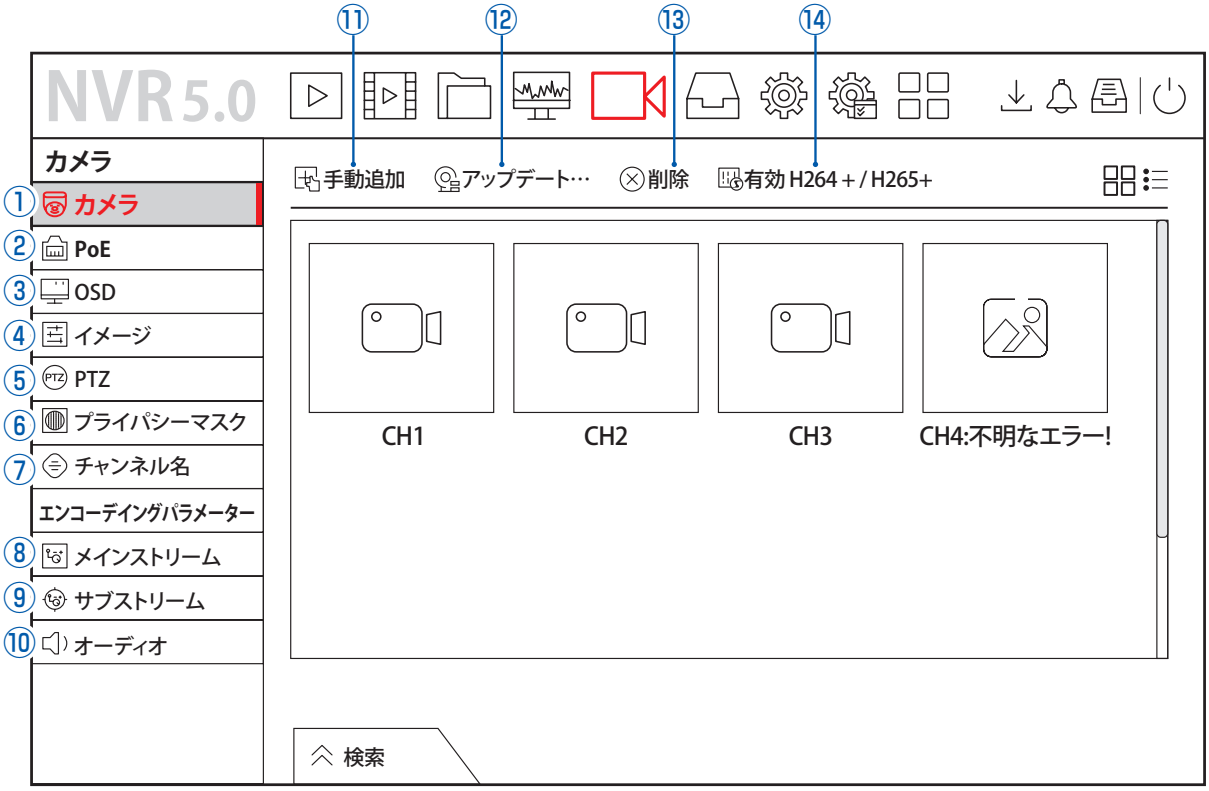
ワンポイントアドバイス

●PCでの再生ができない場合

再生ができない場合は、「コーデック内蔵型再生ソフト」を PC にインストールしていただくと
再生が可能となります

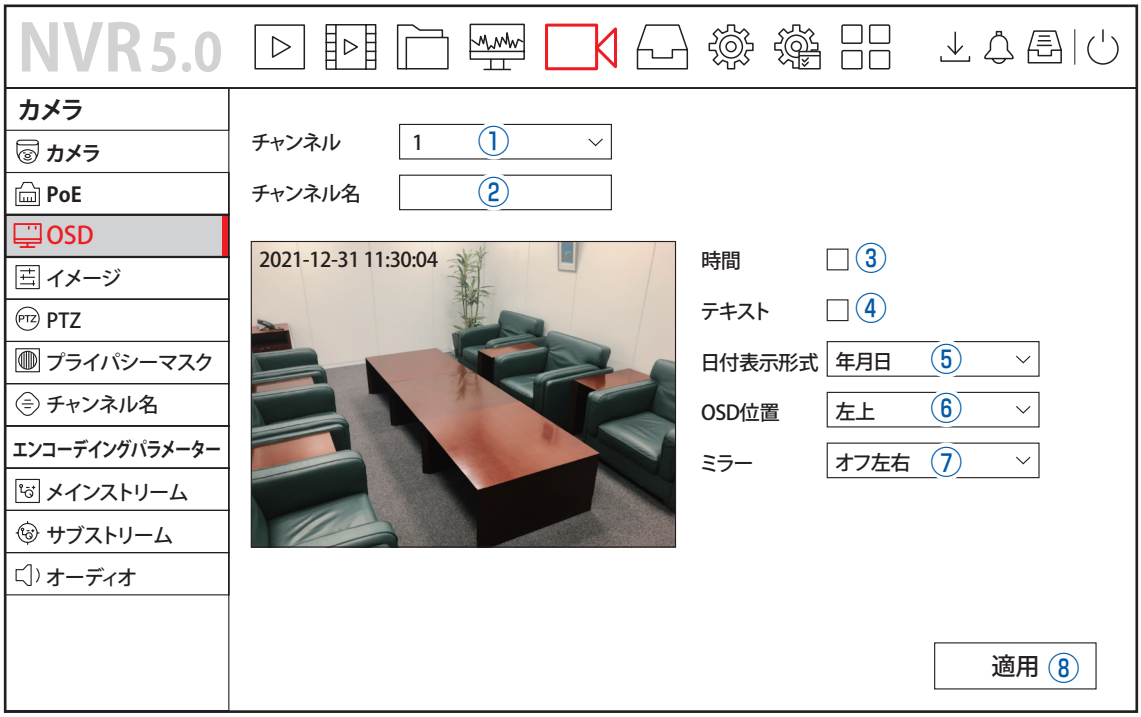
4.3.F 知能分析　本機非対応。

4.3.G チャンネル設定

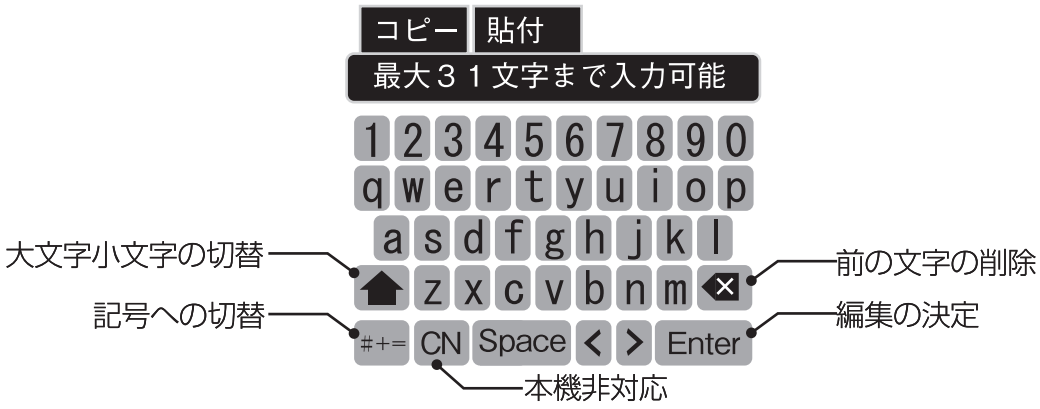


① カメラ　　:カメラの追加します
② PoE　　:本機非対応
③ OSD　　:カメラタイトルや時間の表示設定 (P12 参照)
④ イメージ　　:カメラのイメージ調整 (P13 参照)
⑤ PTZ　　:本機非対応
⑥ プライバシーマスク　　:画面の一部を見えなくする設定 (P13 参照)
⑦ チャンネル名　　:カメラチャンネルの変更 (P14 参照)
⑧ メインストリーム　　:メインストリームの設定 (録画) (P14 参照)
⑨ サブストリーム　　:サブストリームの設定 (通信) (P15 参照)
⑩ オーディオ　　:音声の設定 (P16 参照)
⑪ 手動追加　　:本機非対応
⑫ アップデート　　:カメラのアップデートができます
⑬ 削除　　:カメラの削除ができます
⑭ 有効 H264+ / H265+　　:本機非対応

③ OSD 設定

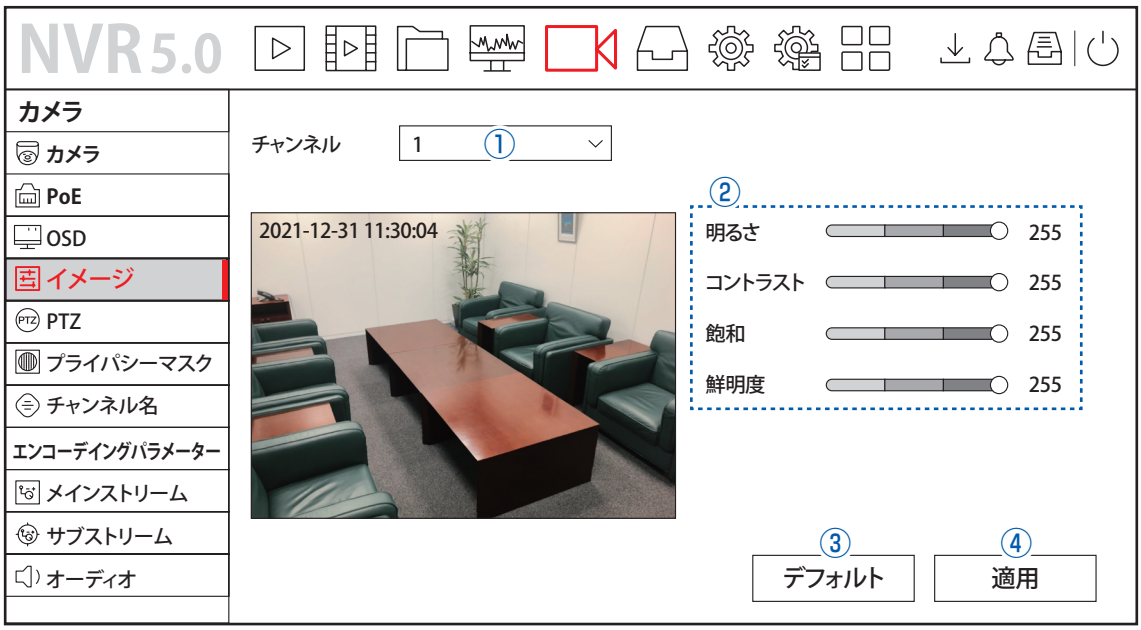


① OSD メニューを編集するチャンネルを選択してください
② チャンネル表示名の変更が可能です。左クリックするとキーボードが表示されるので、文字を入力してください。ドラッグ & ドロップでコピー機能・貼付機能もご利用可能となっております



③ 時間表示の有無
※時間表示を「無」に設定した時間から録画内容からも時間表示は表示されません
④ チャンネル名表示の有無
⑤ 日付の表示形式を変更します
⑥ OSD の表示場所を変更します
⑦ 画像を反転させることができます
⑧ 設定した内容を適用させます。設定を変更した場合は必ず「適用」をクリックしてください
⑨ 他のチャンネルにも設定した内容と同じにすることが可能です

④イメージ



①チャンネルの選択　　②色合い･明るさ調整
③初期設定値に戻す　　④適用
各チャンネルの色合い調整が可能です

⑤ PTZ: 本機非対応

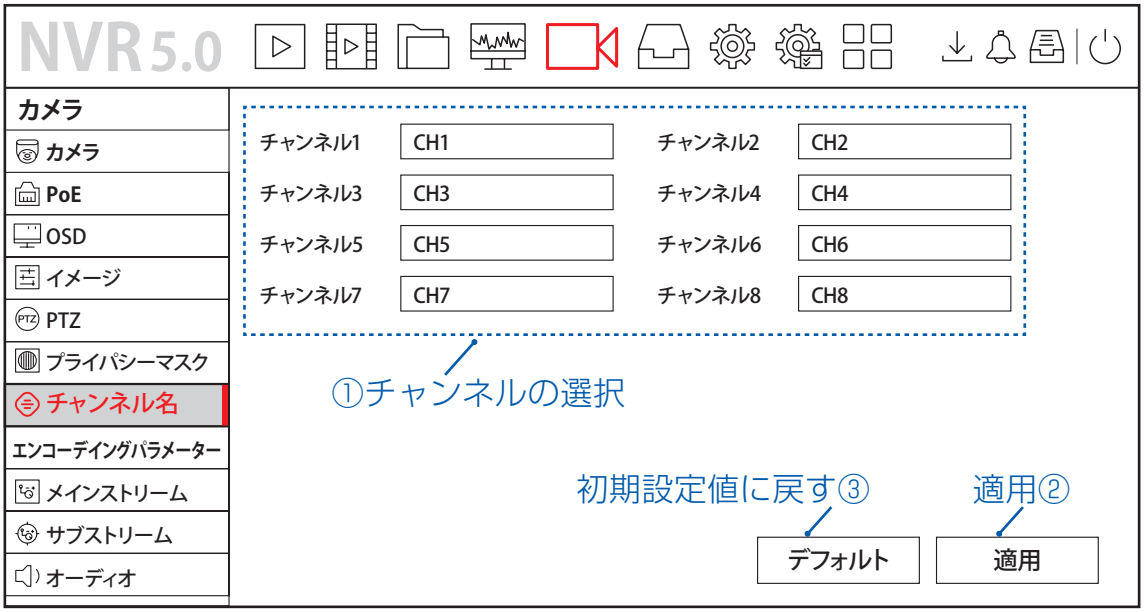
⑥プライバシーマスク

プライバシ ーマスク → ライブ映像･録画内容共にマスクされます (青表示)

設定方法は、②の画面上で、マウスをドラッグし、マスクしたい場所の選択を行い、
選択後に適用を左クリックすると、プライバシーマスクがかかります
設定領域は最大 3 箇所迄となっております。
また、マスクした場所を取り消す場合は、各領域を再度　左クリックで解除　全ての解除は④を左クリックしてください

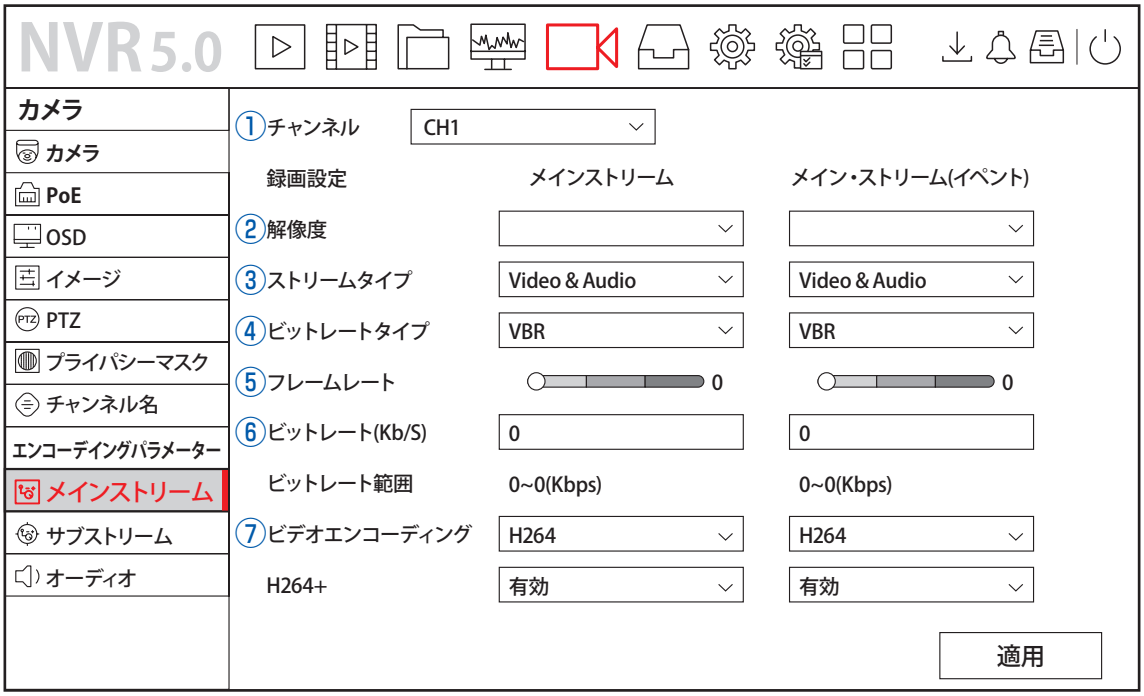
⑦チャンネル名

任意でチャンネル名を設定することが可能です。



⑧メインストリーム

メインストリームは、録画時の設定になります。
録画時間を伸ばしたい場合は、メインストリームのビットレートが低く
なるように設定し、様子をみてください。

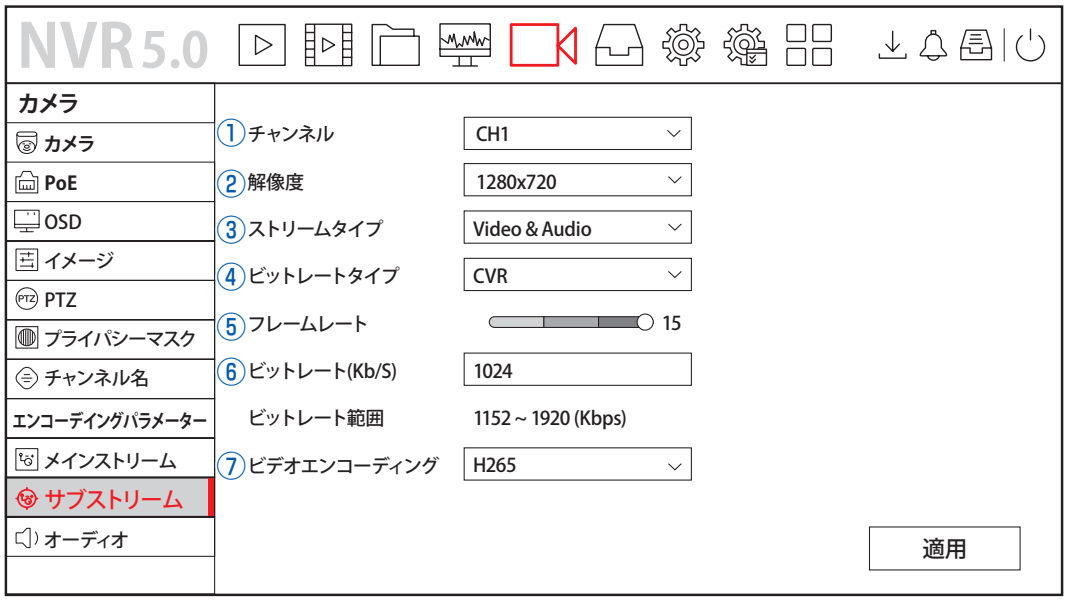


①【チャンネル】　　:設定するチャンネルを選択します。
②【解像度】　　:カメラの解像度に依存します。
③【ストリームタイプ】　　:Video & Audio　映像および音声
④【ビットレートタイプ】　　:
VBR:動きや音声など状況に応じたビットレートに可変し録画します･

CBR：どのような状況でもビットレートを固定します。
動きの多い場所や、音声を一緒に保存する場合は、CBR の方が録画時間が
多くなる場合がありますが、画質が悪くなったり音声が途切れたりする場合があります。
⑤【フレームレート】　：1 秒間に録画するフレーム数を選択してください。
⑥【ビットレート】　：数値が大きくなればなるほど、録画時間は短くなります。
録画した内容を再生しながら最適な設定を行ってください。
⑦【ビデオエンコーディング】：H.265 もしくは H.264 から選択してください。
（推奨：H.265 の方が高圧縮です。より録画時間が伸びます。）

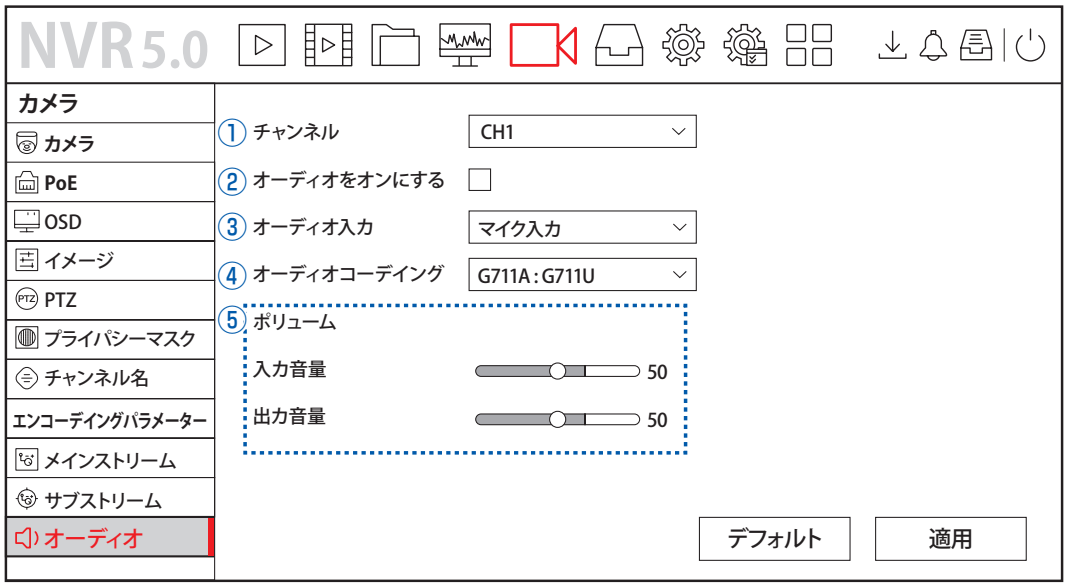
⑨サブストリーム

サブストリームは、遠隔監視時の設定となります。
回線速度が不安定で、円滑に遠隔監視ができない場合は、サブストリーム
のビットレートが低くなるように設定し様子をみてください。



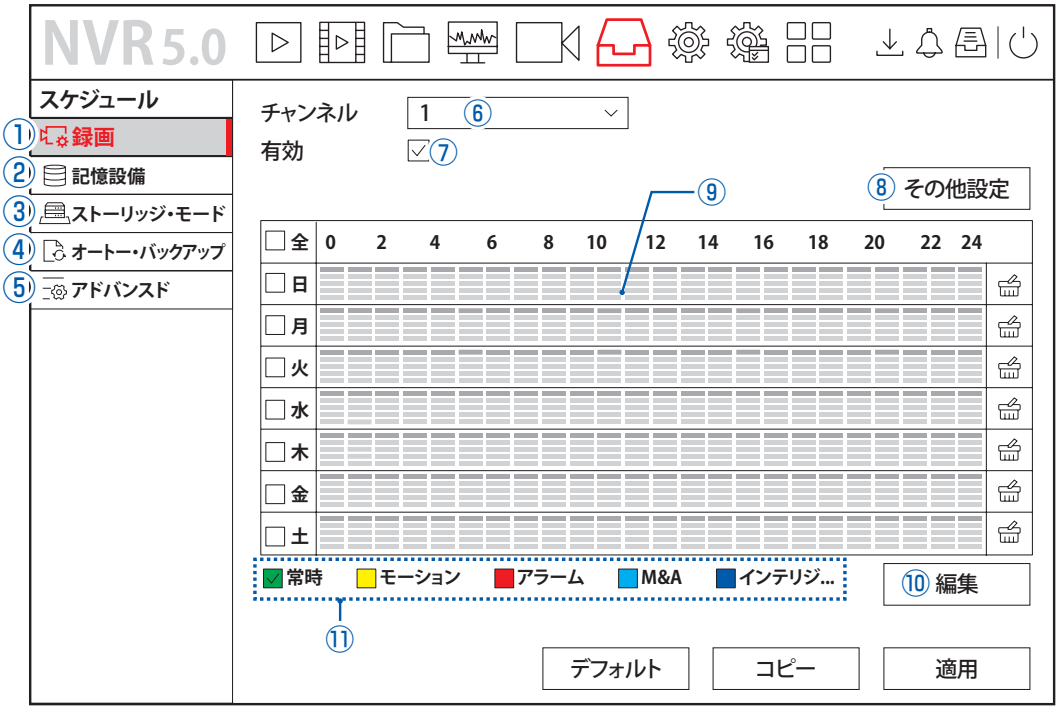
①【チャンネル】　：設定するチャンネルを選択します。
②【解像度】　：1280 × 720（100 万画素）固定です。
③【ストリームタイプ】　：Video & Audio　映像および音声
④【ビットレートタイプ】　：
VBR　：動きや音声など状況に応じたビットレートに可変し録画します･
CBR　：どのような状況でもビットレートを固定します。
動きの多い場所や、音声を一緒に保存する場合は、CBR の方が録画時間が
多くなる場合がありますが、画質が悪くなったり音声が途切れたりする場合があります。
⑤【フレームレート】　：1 秒間に録画するフレーム数を選択してください。
⑥【ビットレート】　：数値が大きくなればなるほど、録画時間は短くなります。
録画した内容を再生しながら最適な設定を行ってください。
⑦【ビデオエンコーディング】　：H.265 もしくは H.264 から選択してください。
（推奨：H.265 の方が高圧縮です。より録画時間が伸びます。）

⑩オーディオ



①【チャンネル】　　:設定するチャンネルを選択します。
②音声有効にするにはチェックを入れてい下さい。
③オーディオ入力　　:マイク入力を選択してください。
④オーディオコーディング　:G711A:G711U 指定です。
⑤ボリューム調整できます

4.3.H ストレージ

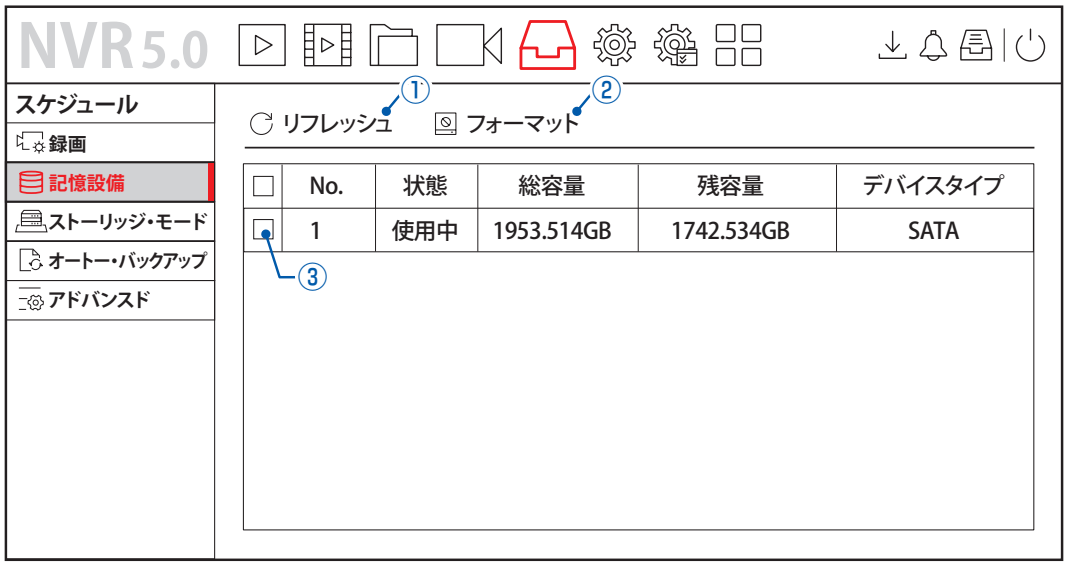


①録画　　:録画スケジュールの設定をおこないます。
②記憶設備 :HDD の情報が見れます。
③ストーリッジ・モード・④オートー・バックアップ・⑤アドバンスド:本機非対応

① 録画

⑥チャンネルの選択
⑦チェックを入れると録画が有効になります。
⑧その他設定
⑨設定状況
⑩スケジュール編集
⑪録画モード
設定方法については簡単取扱説明書 P5 をご参照ください。
その他設定では以下の内容が設定可能です。
プリー録画時間→動体検知前の録画時間の設定 (秒)
ポストーレコード→動体検知後の録画時間の設定 (秒)

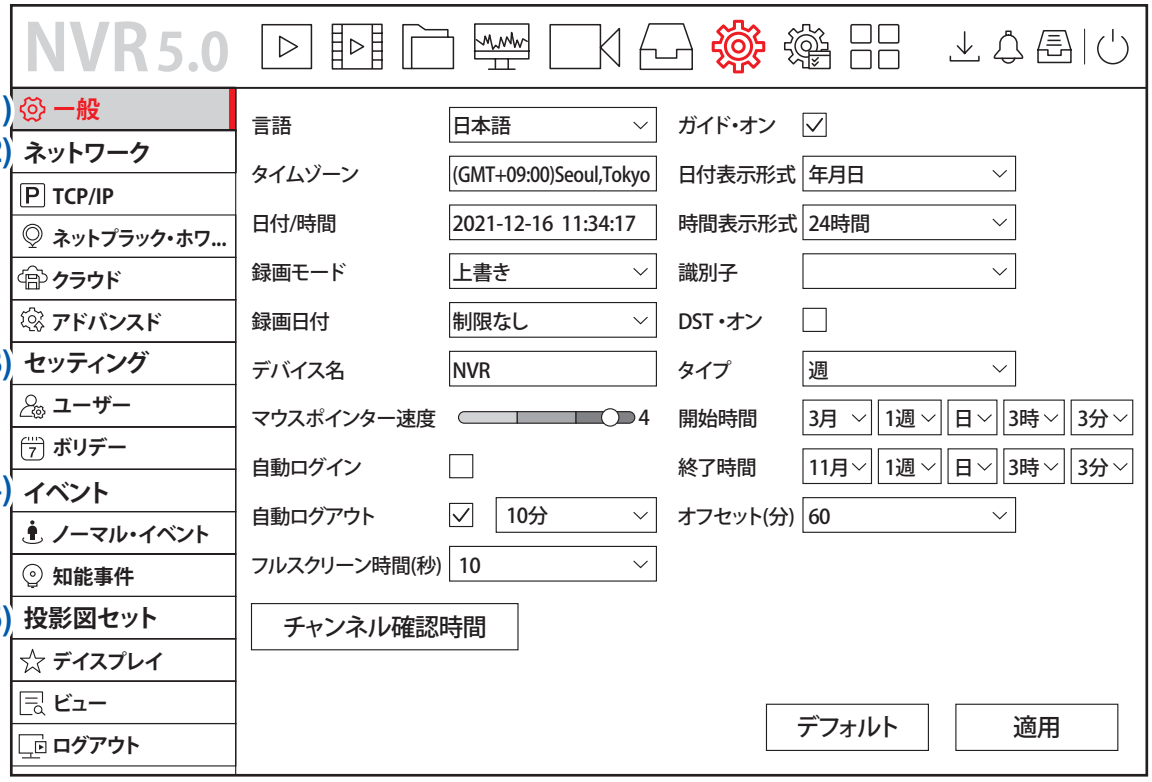
② 記憶設備



①リフレッシュ ：搭載 HDD の情報更新
②フォーマット ：搭載 HDD のフォーマット (録画データ全削除)

どちらの機能も対象の HDD を③で選択し、各メニューを左クリックで開始します
フォーマットは途中で再起動がかかるので、起動するまでは操作をしないでください。

4.3.I システム

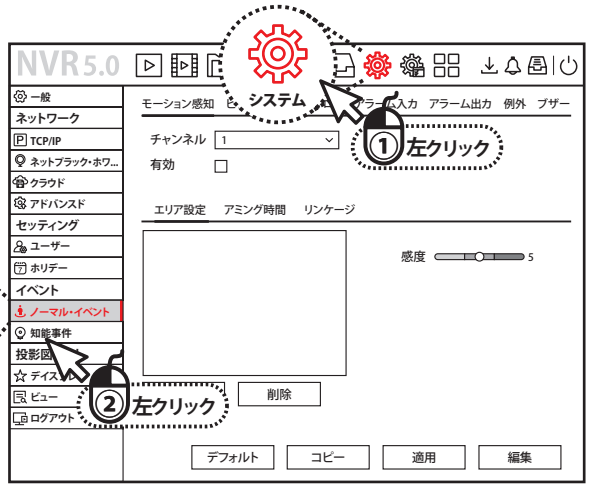


(1) 一般

言語　　: 表示言語の設定
タイムゾーン　　: 日本は (GMT+09:00) Seoul. Tokyo…　を選択してください
日付 / 時間　　: 日時設定
録画モード　　: 上書き録画のみ対応
録画日付　　: 録画をする日数を制限できます
デバイス名　　: デバイスの名前を設定できます
マウスポインター速度　　: マウスのポインターの速さを調整できます
自動ログイン　　: チェックを入れると再起動時、暗証番号の入力が不必要になります
自動ログアウト　　: チェックを入れると時間が経つと暗証番号入力が必要になります
無を選択するとログアウトしません
フルスクリーン時間（秒）　　: モーションが働いた時、全画面表示を設定されていると
全画面表示になります。全画面の継続時間を設定できます。
注意）P19 参照
チャンネル確認時間　　: カメラの時間と録画機の時間を同期します
ガイド・オン　　: 電源起動時にガイド表示され、設定が可能になります
日付表示形式　　: 表示形式を変更できます
時間表示形式　　:12 時間表示、24 時間表示の選択が可能です
識別子　　: 識別子を選択できます
DST　　: サマータイムの設定です。日本国内での使用は必要ありません

注意）フルスクリーンの設定方法

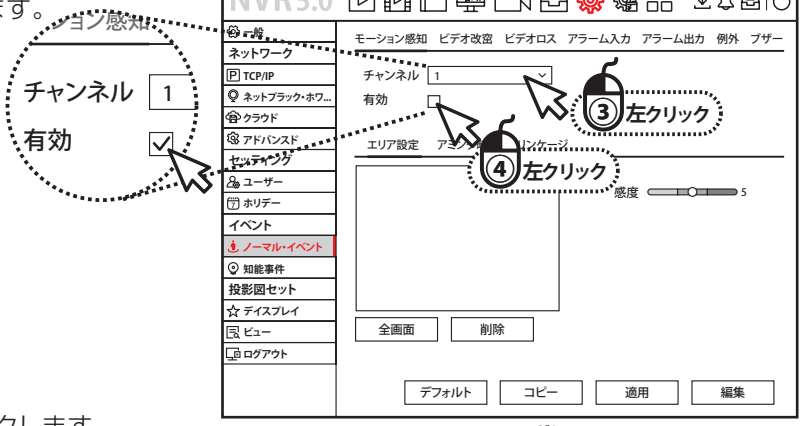
① ライブ画面の状態から、マウスで右クリックすると、画面の上・左・下にメニューが表示されます。
上部メニューの【 】(システム）を左クリックします。



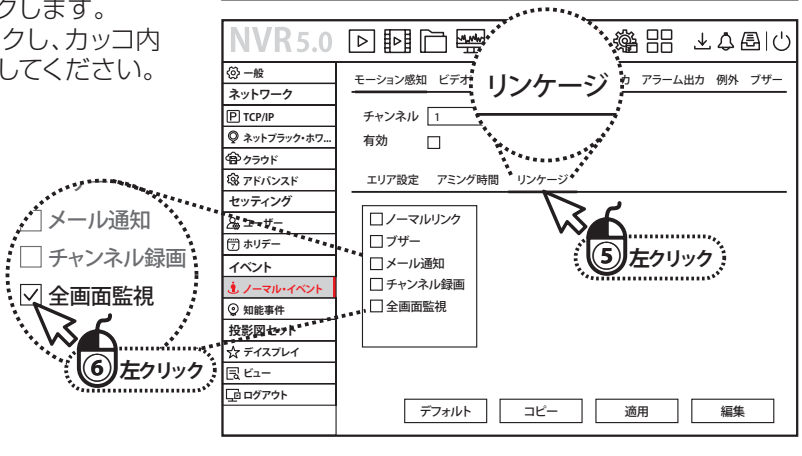
②【ノーマル・イベント】
を左クリックします。

③【チャンネル】：チャンネル（カメラの番号）
を選択します。
④【有効】：チェックを入れます。

初期設定は、検知エリアが全エリアが選択されていますので、必要に応じて設定可能です。



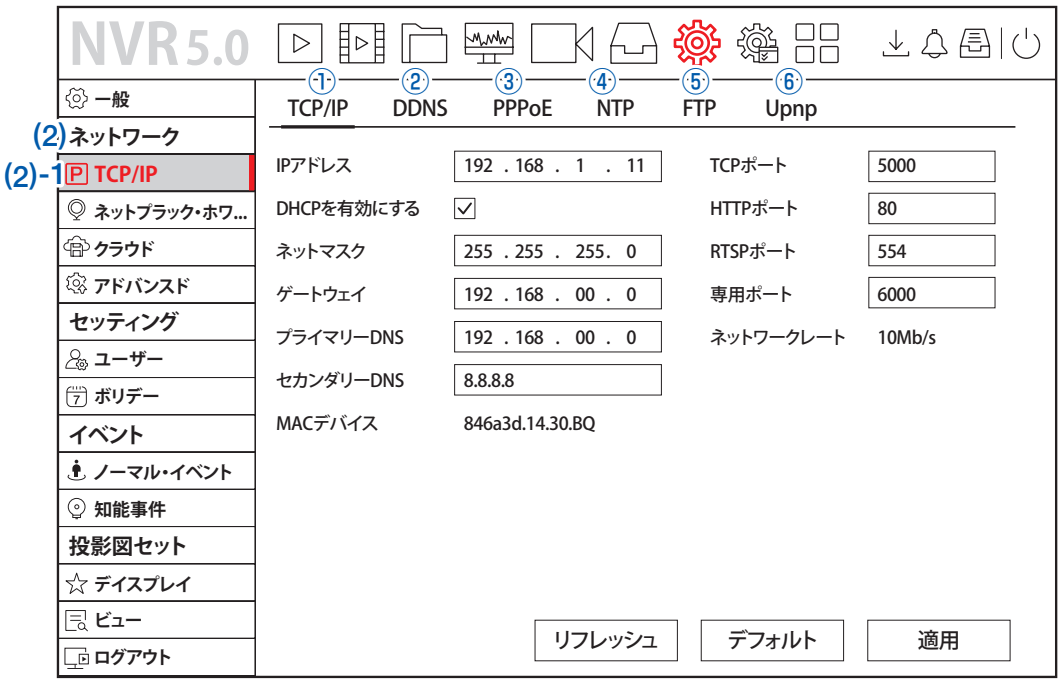
⑤【リンケージ】を左クリックします。
⑥【全画面監視】を左クリックし、カッコ内が緑になったことを確認してください。



(2) ネットワーク

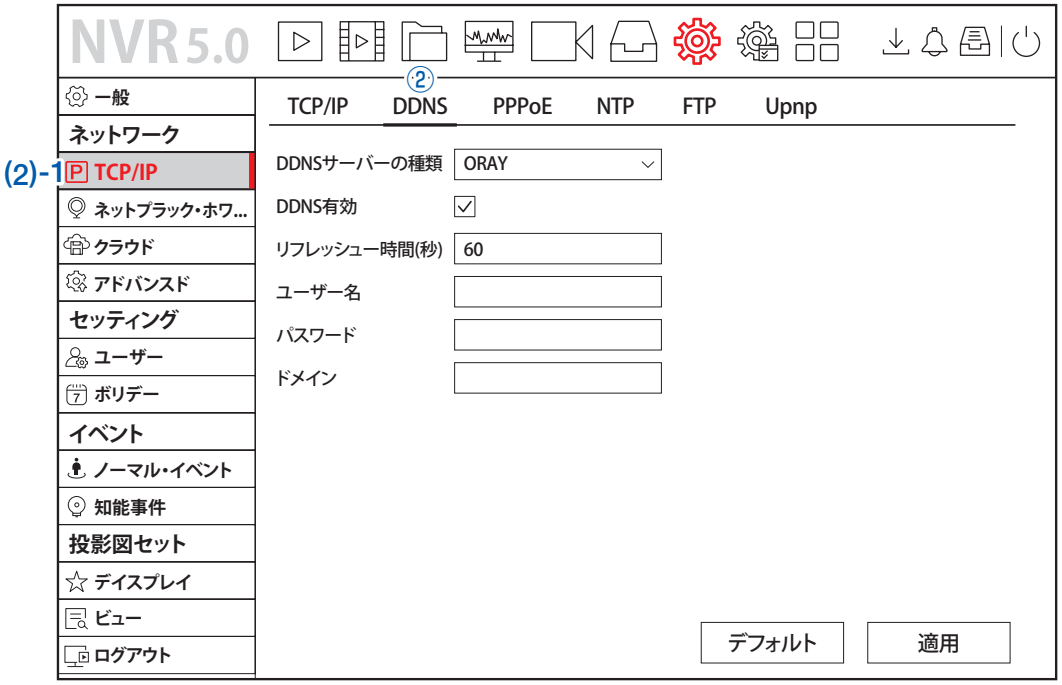
(2) -1 TCP/IP

(2) -1- ① TCP/IP



現在のネットワーク情報を表示します。

(2) -1- ② DDNS



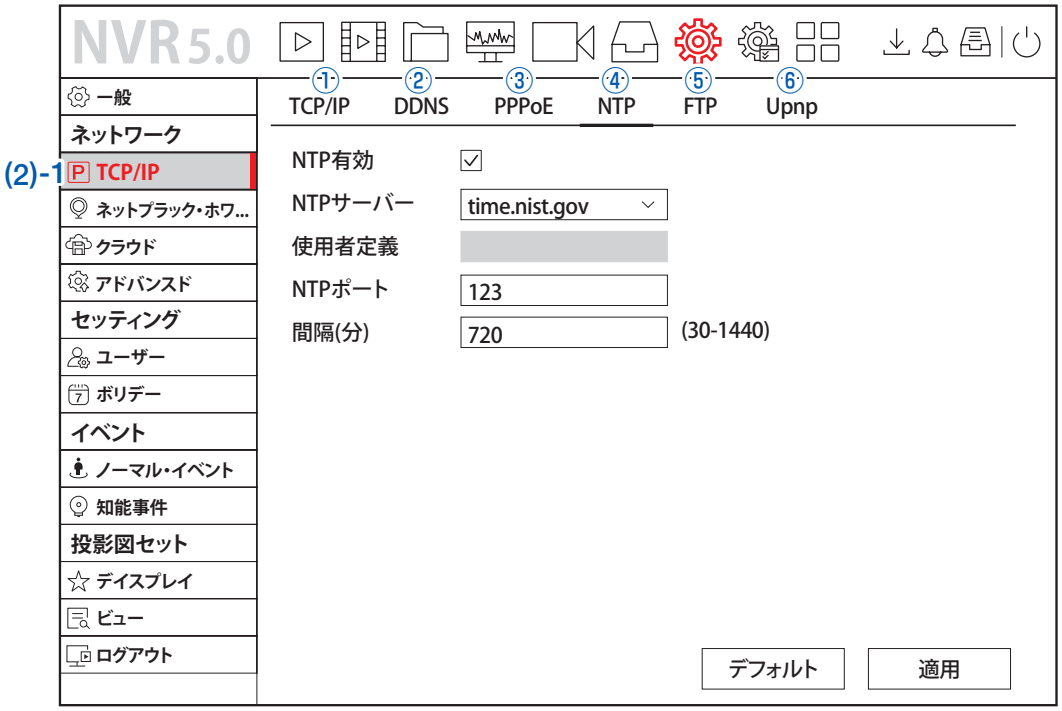
【DDNS サーバーの種類】 ·DDNS の種類を選んでください
·外部 DDNS サーバーを使用するためにはサービスの加入が

必要です·
·サポートされている DDNS サーバー
ORAY,NO-IP,DYN,CHANGIP,A-PRESS,MYQSEE,SKDDNS,SMART-EYES,
ZEBEYE,HDPROVN,DYNAMIC-PLANET,EASY __ PLANET

【DDNS 有効】　:DDNS が使用できます
【リフレッシュ時間】:リフレッシュ時間を
設定できます
【ユーザー名】　:DDNS により登録され
たアカウントを 入力してください
【パスワード】　:DDNS により登録されたパスワードを入力してください。
【ドメイン】　:ドメインを入力します

(2) -1- ③ PPPoE　本機非対応。

(2) -1- ④ NTP



【NTP 有効】　有効にチェックを入れると WEB 時間と同期します。
【NTP サーバー】時間情報を受信するサーバーを指定します。
【NTP ポート】　ネットワーク上で時刻情報を習得するときに使用されるポートを設定します。
- デフォルトは値は123です。
【間隔】　自動同期の使用時にサーバーと時刻を同期する頻度を設定します。

(2) -1- ⑤ FTP　本機非対応。

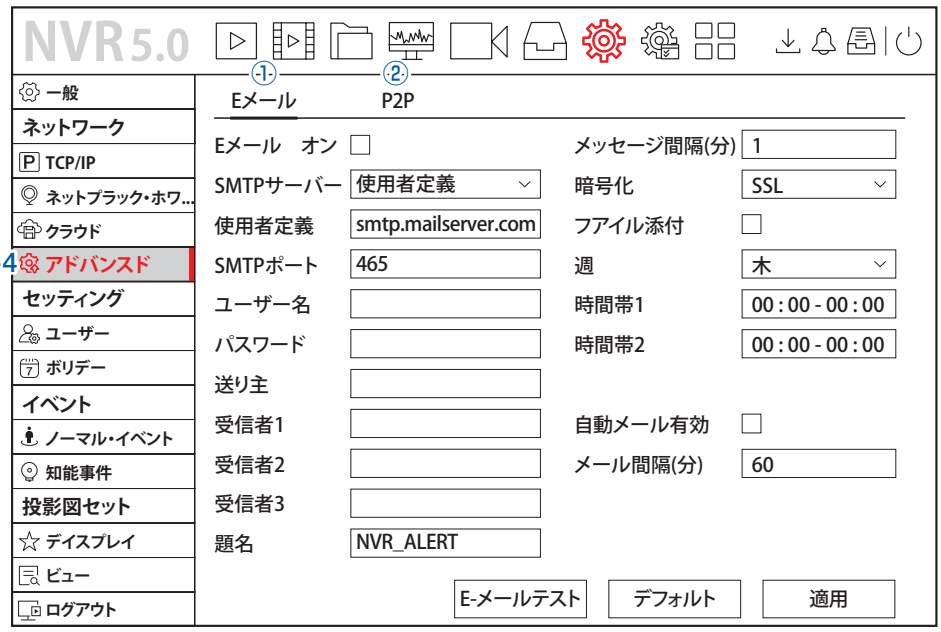
(2) -1 - ⑥ UPnP　本機非対応。

(2)-2 ネットブラック·ホワイトリスト　本機非対応。

(2)-3 クラウド　本機非対応。

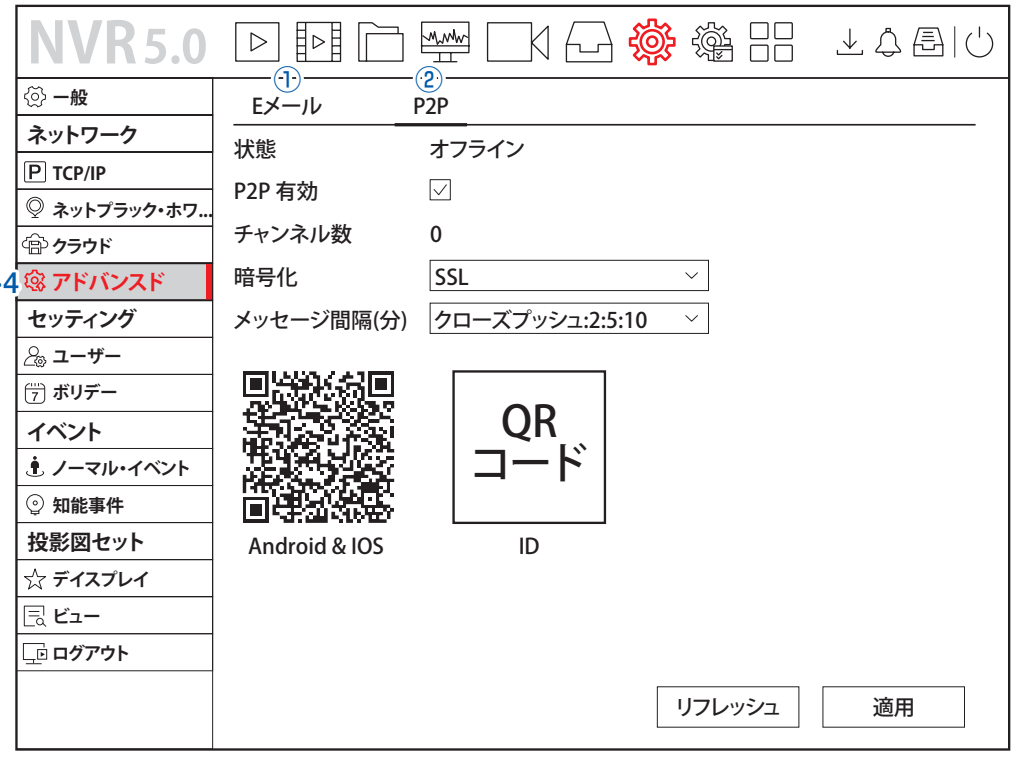
(2)-4 アドバンスト

(2)-4- ① E メール



【E- メール オン】:チェックを入れると、モーション検知などに連動してメールを送ることができます。
【注意】近年セキュリティが強くなり、メールが送れなくなってきていますのでこの機能はお勧めしており ません。

(2)-4- ② P2P



【状態】　　:有線でインターネットに接続されていると【オンライン】になります。オフラインでは 監視できません。【注意】オンラインにならない時、電源 ON/OFF を試みてください。
【P2P 有効】　:遠隔監視される場合、チェックをいれて有効にしてください。

【チャンネル数】：設定不可
【暗号化】　　：SSL を選択してください。
【ブッシュ間隔】：クローズブッシュ:2:6:10　固定です。

携帯電話での遠隔監視は、簡単取説 P14 を参照ください。
PC での監視は、下記アドレスからアプリをダウンロードしてください。

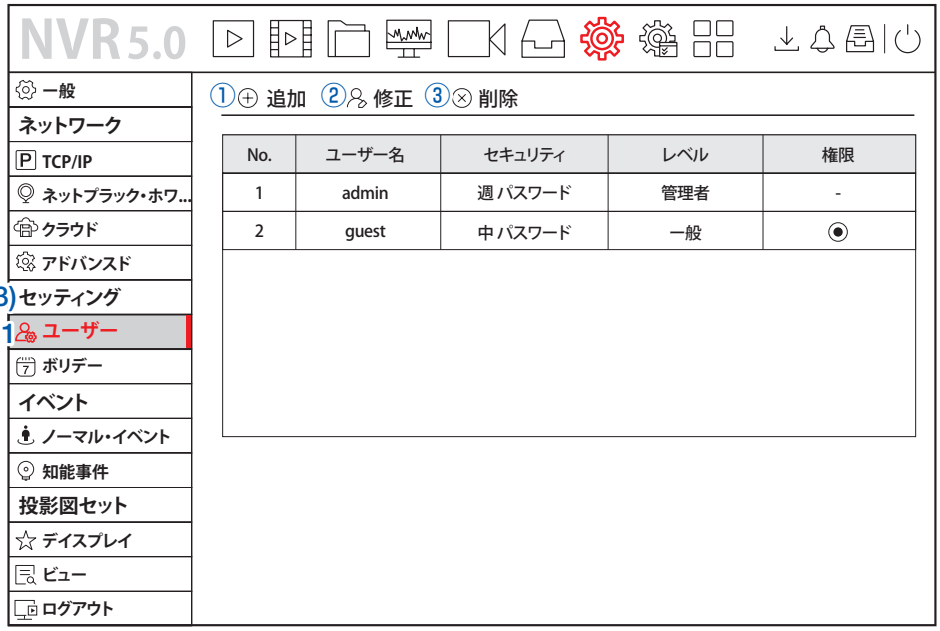
https://wtw.support/article-categories/software-1-nv8-nv1429gp

録画機の登録方法は､下記アドレスから**【 iVMS320 録画機を登録する方法 】**をダウンロードしてください。

(3) セッティング

(3)-1 ユーザー

初期パスワードはセキュリティ面を考慮し必ず変更してください
変更方法は簡単説明書 P12 をご参照ください



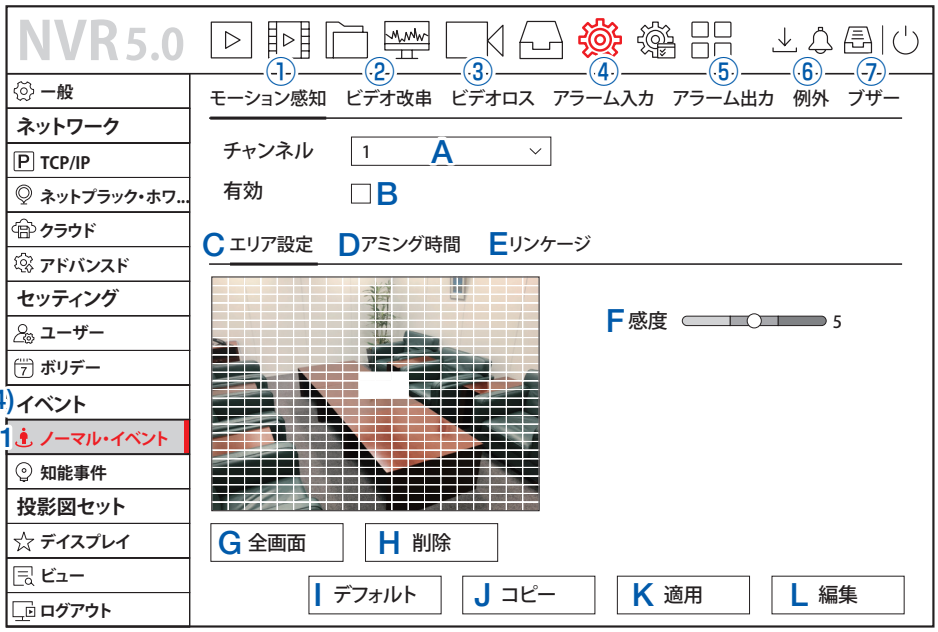
①ユーザー追加
②ユーザー情報の変更
③ユーザー情報の削除
④操作権限レベルが運営者、又は一般の場合に設定可能です。設定可能な場合、【 ◉ 】アイコンが表示されます
※管理者ユーザーは削除できません
※管理者ユーザーの権限は全ての設定が付与されます
※管理者以外のレベルは、運営者と一般から選択してください
※運営者･一般の権限はユーザー追加後に設定してください

(3)-2 ホリデー　本機非対応

(4) イベント

(4)-1 ノーマル・イベント

(4)-1- ① モーション感知



A. チャンネル　: 設定するチャンネルを選択します
B. 有効　: チェックが入っていれば有効となります
C. エリア設定　: 感知エリアをドラッグして設定が可能です　初期値は、全エリア動作します
D. アミング時間 : 作動する曜日・時間を設定可能です　初期値は全時間設定されています
E. リンケージ　: 動作の種類を選択可能です
F. 感度　: 感度の調整を 10 段階で設定可能で、数値が大きいほど高感度となります
G. 全画面　: 写っている画面全体が感知エリアとなります
H. 削除　: 設定した感知エリアを削除します
I. デフォルト　: 初期値の設定に戻る
J. コピー　: 他のチャンネルにコピー
K. 適用　: 設定の適用
L. 編集　: 本機非対応

注意）初期設定時、モーション感度が 0 になっていますので感度調整をする必要があります。

(4)-1- ② ビデオ改串　本機非対応

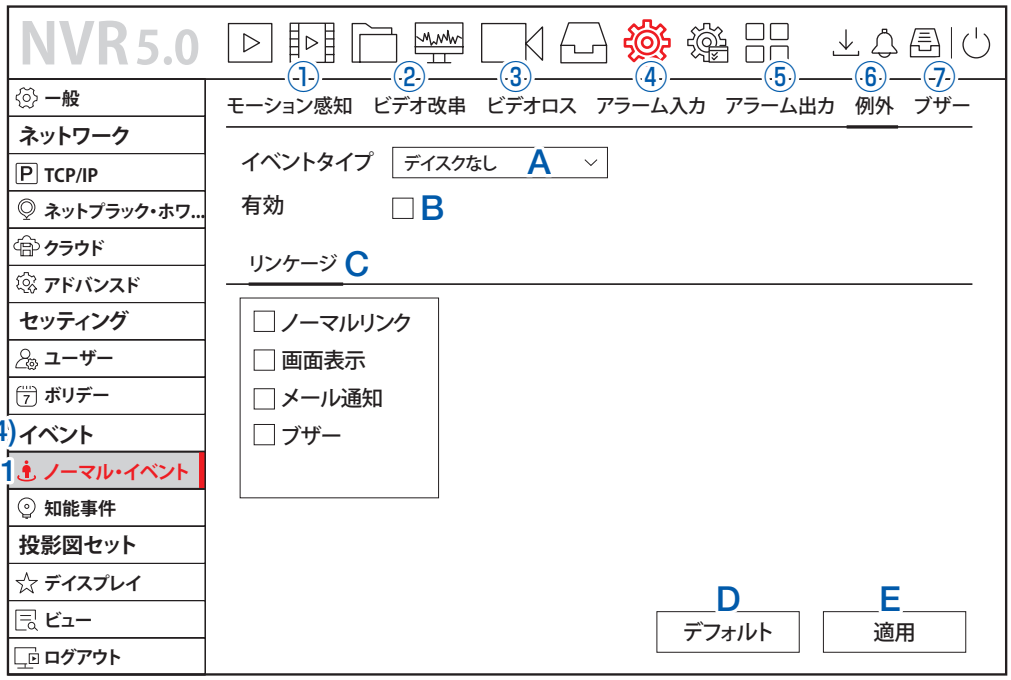
(4)-1- ③ ビデオロス　本機非対応

(4)-1- ④ アラーム入力　本機非対応

(4)-1- ⑤ アラーム出力　本機非対応

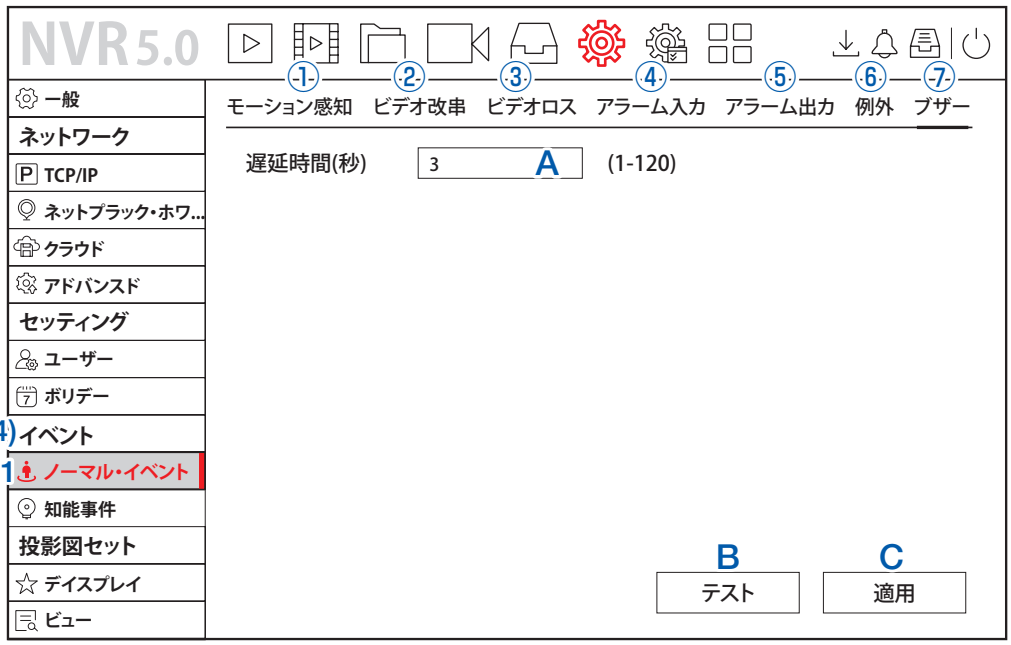
(4)-1- ⑥ 例外

HDD・インターネットのエラー表示の設定



A. イベントタイプ : 設定する例外イベントを選択します
B. 有効 : チェックが入っていれば有効となります
C. リンケージ : 動作の種類を選択可能です
D. デフォルト : 初期値の設定に戻る
E. 適用 : 設定の適用

(4)-1- ⑦ ブザー

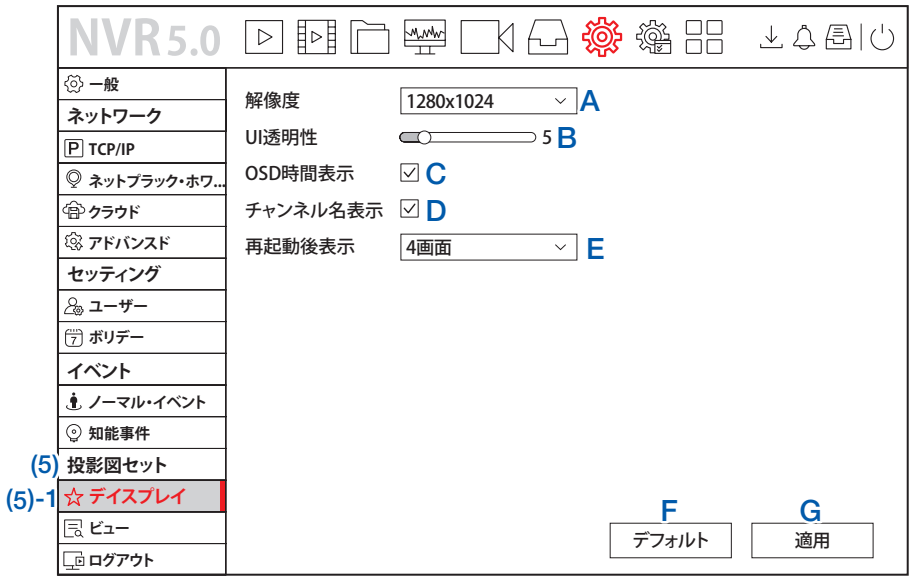


A. 遅延時間 : ブザーの鳴っている時間を設定できます
B. テスト : 遅延時間のテストができます
C. 適用 : 設定の適用

(4)-2 知能事件　本機非対応

(5) 投影図セット

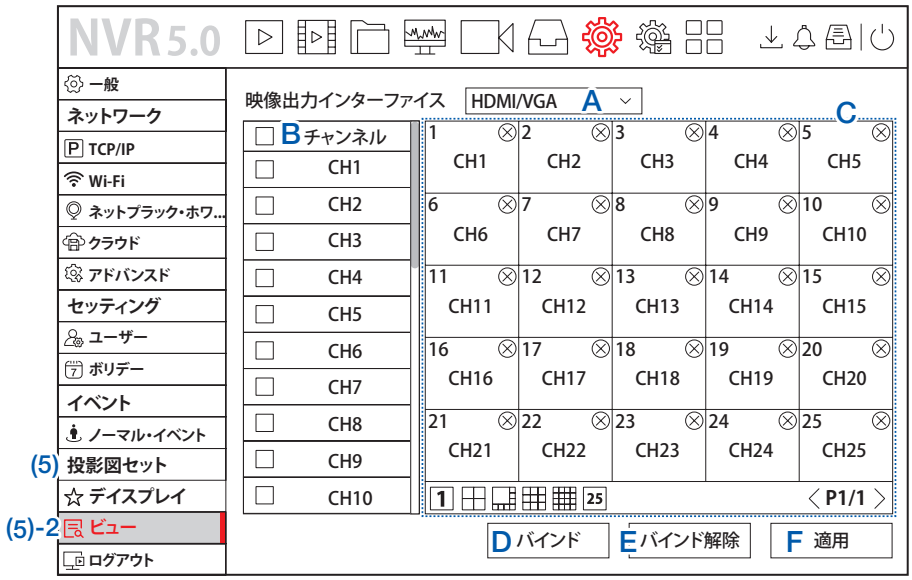
(5)-1 デイスプレイ



A. 解像度　：出力解像度の設定　　B.UI 透明性　：UI 画面の透過設定
C.OSD 時間表示　：時間表示の有無　　D. チャンネル名表示 : 表示の有無
E. 再起動後表示　：起動時の画面　　F. デフォルト　：初期値の設定に戻る
G. 適用　：設定の適用

(5)-2 ビュー

各カメラ映像表を隠すことができます。録画はできています

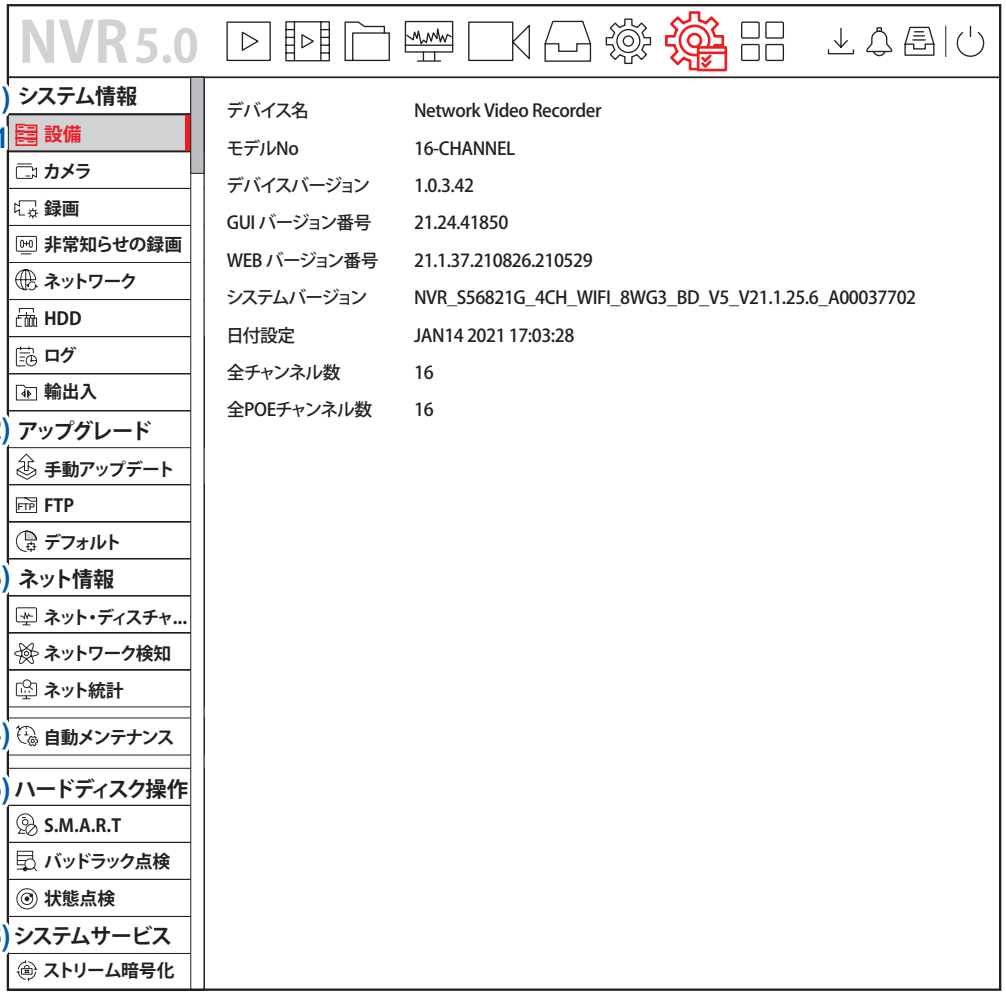


A. 映像出力インターファイス　：HDMI/VGA　固定
B. チャンネル　：希望のチャンネルを設定します。
C. 表示画面　：各チャンネルの右上の【⊗】が表示していれば、表示します。
【⊗】が無い場合、画面表示しません。
D. バインド　：チャンネル指定後、左クリックすると、画面表示します。
E. バインド解除　：チャンネル指定後、左クリックすると、画面表示しません。
F. 適用　：設定の適用

(5)-3 ログアウト　本機非対応

4.3.J メンテナンス

以下の本機に関する各種情報をご確認いただけます



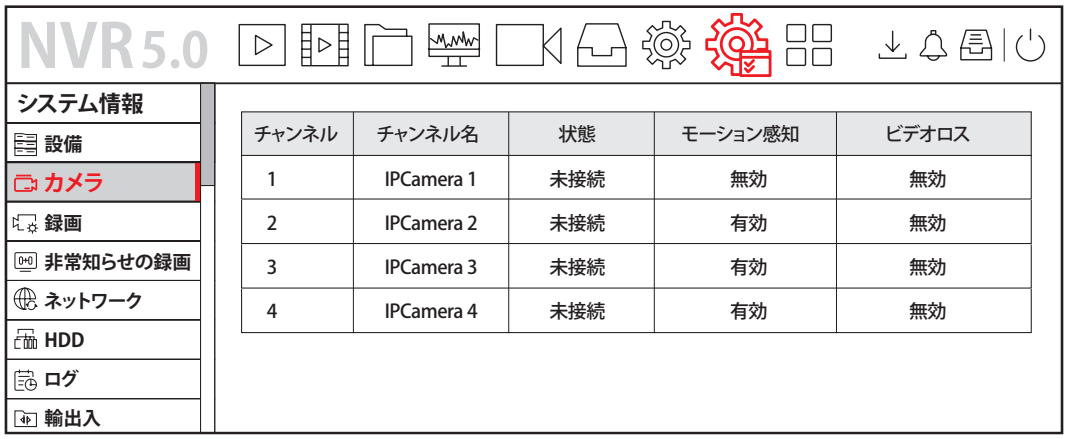
(1) システム情報

(1)-1 設備

本製品のバージョンが確認できます

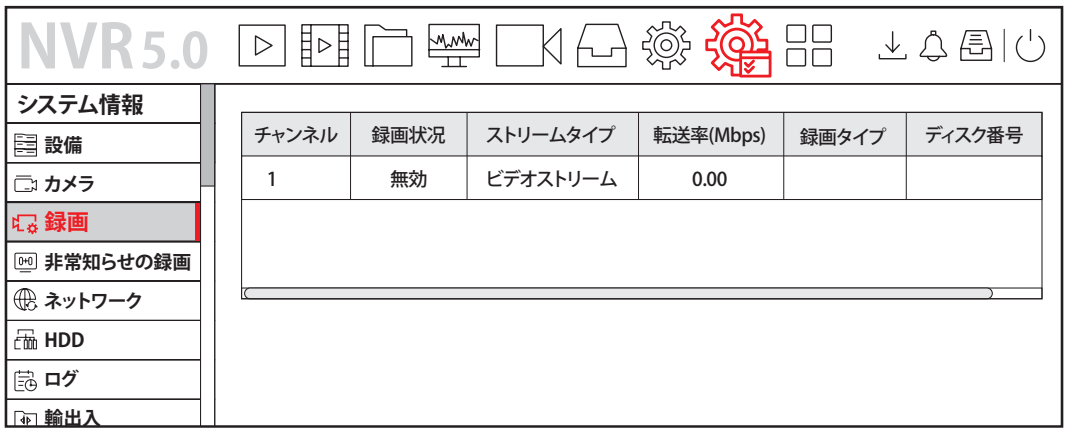
(1)-2 カメラ

各カメラのタイトル・接続状態・モーション感知の状態・ビデオロスの設定の状態を表示します。

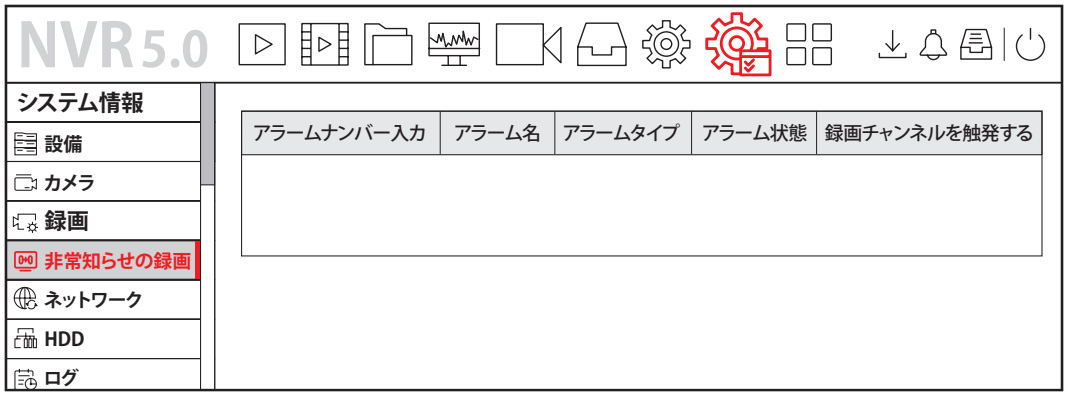


(1)-3 録画

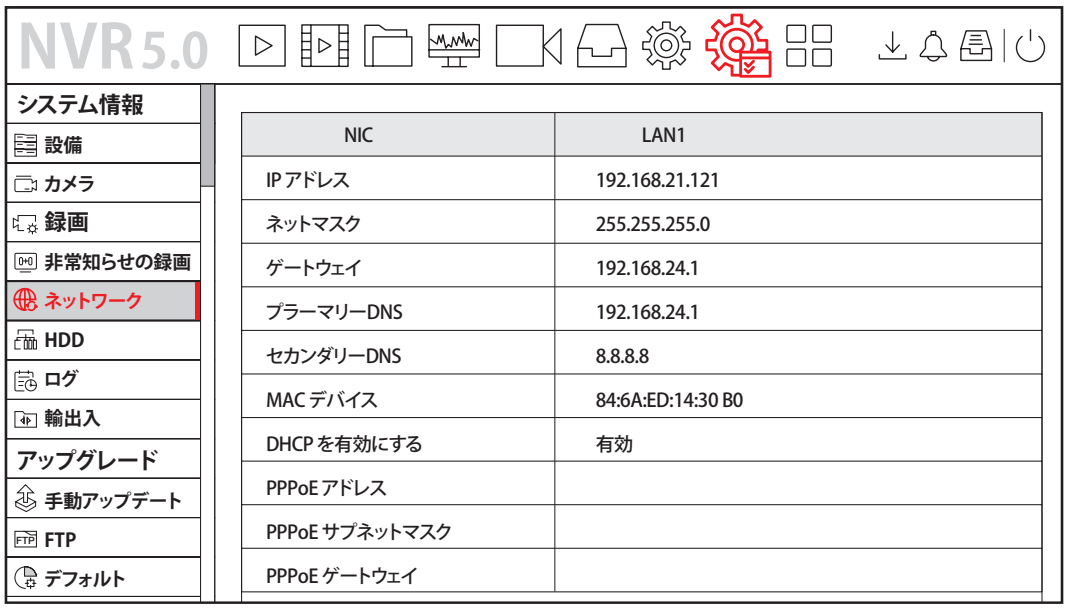
録画の状態を確認できます



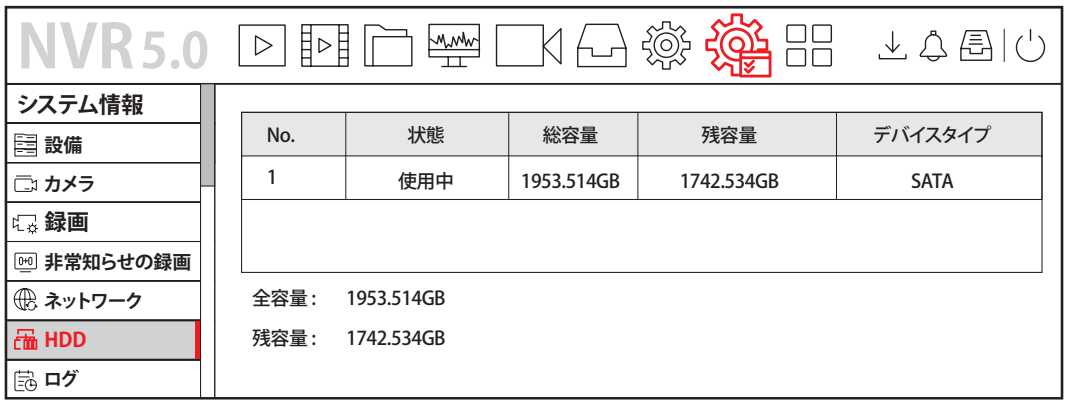
(1)-4 非常知らせの録画



(1)-5 ネットワーク　ネットワークの状態確認ができます

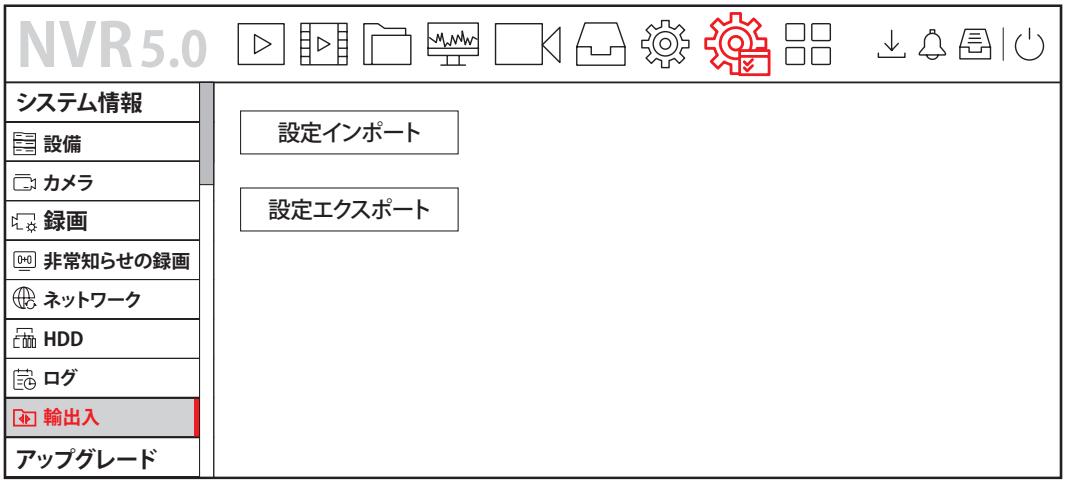


(1)-6 HDD　HDD の状態が確認できます。



(1)-7 ログ　ログの確認・保存ができます

(1)-8 輸出入　設定の書き出し･読み込みができます



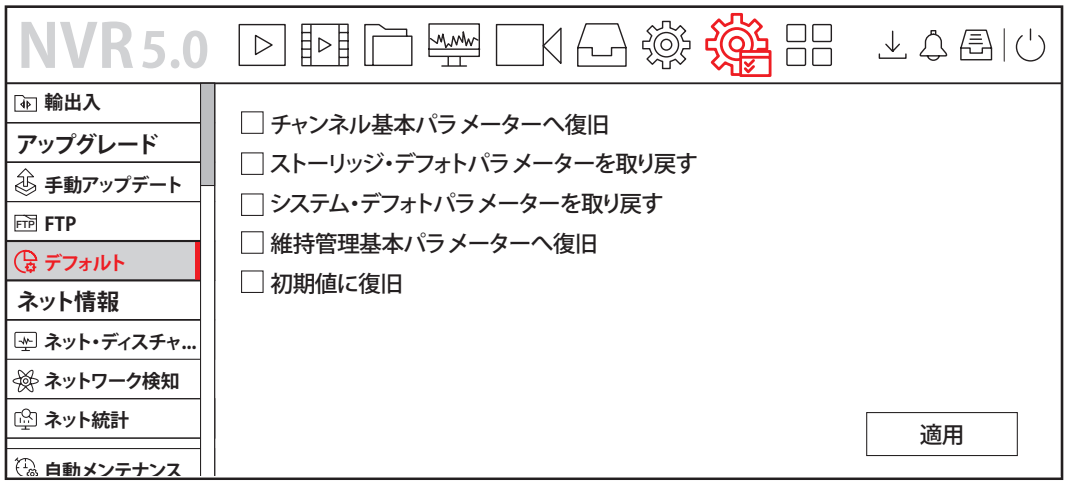
(2) アップグレード

(2)-1 手動アップデート

アップデート用のファームウェアーが入った USB を差し込んでください。
リフレッシュ　　：USB のデーターを検索します。
アップグレード　：リストにチェックを入れアップグレードを押すとアップデートが始まります。
【注意】アップデート中は電源を切らないでください。

(2)-2 FTP　本機非対応

(2)-3 デフォルト

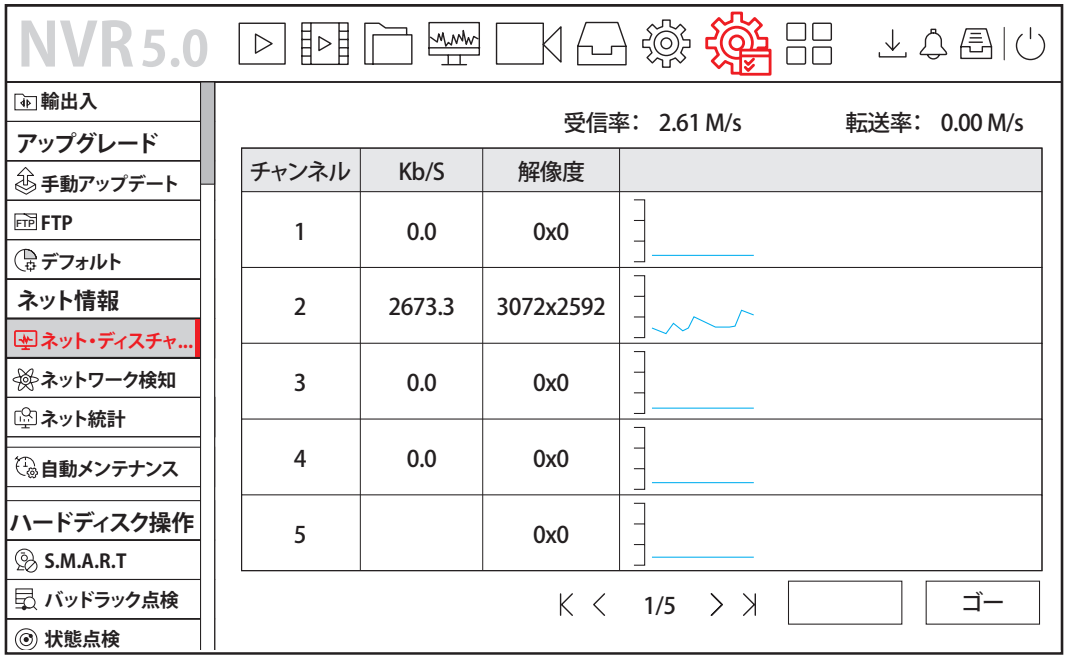


各項目を復旧することができます。
工場出荷状態に、戻すには、初期値に復旧を行ってください。

(3) ネット情報

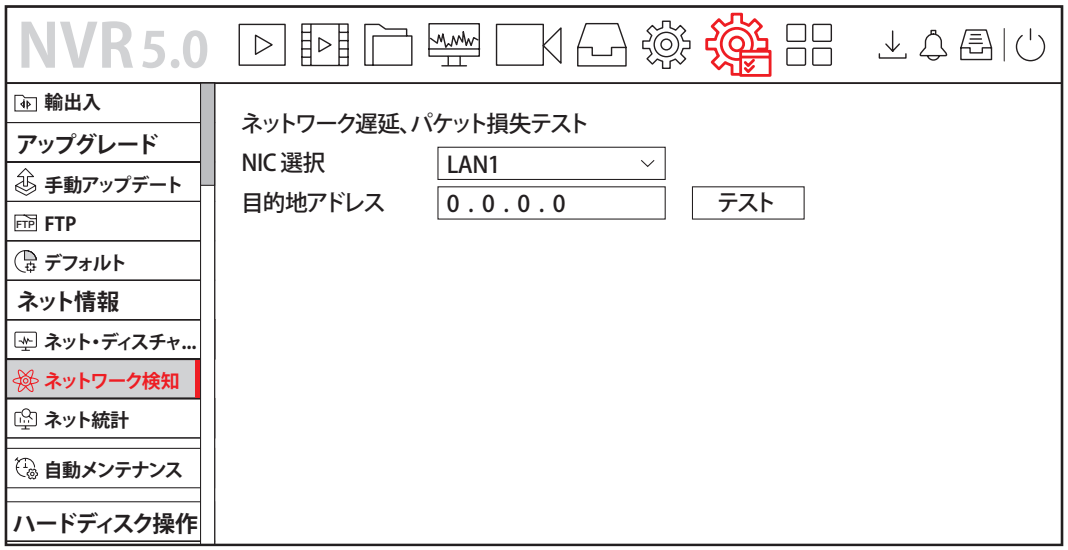
(3)-1 ネット・ディスチャー

各カメラのビットレートおよび解像度を確認することができます。



(3)-2 ネットワーク検知

ネットワークの遅延･パケットの損失のテストができます



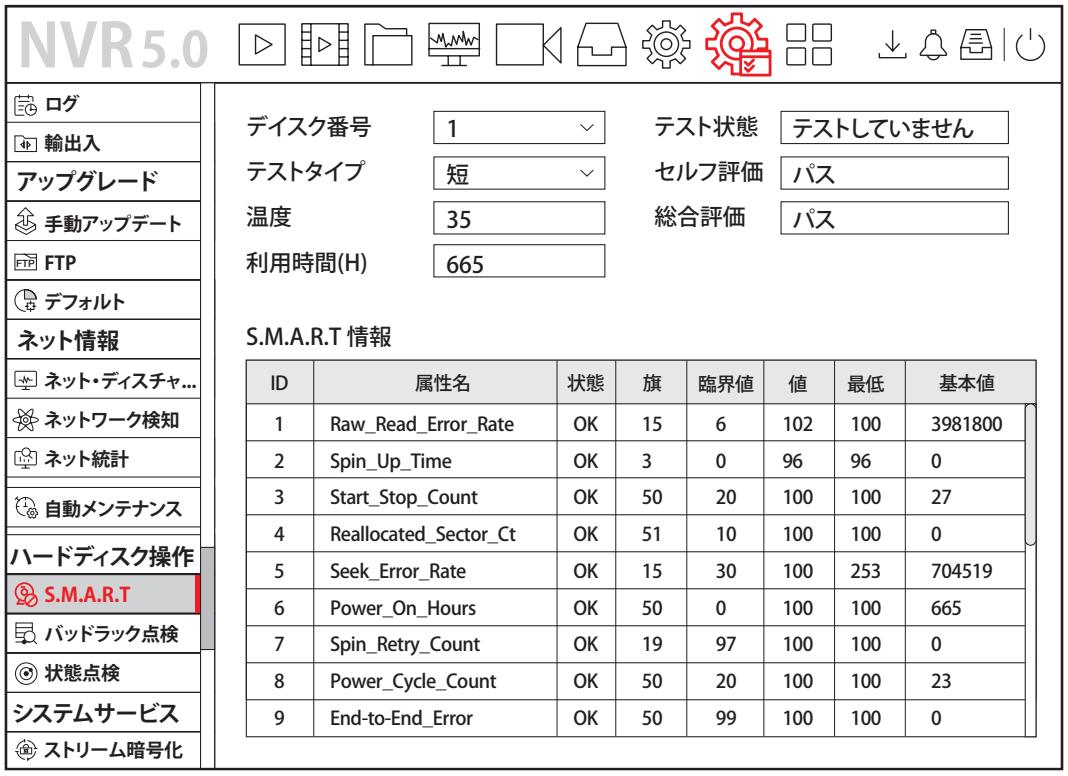
(3)-3 ネット統計　本機非対応

(4) 自動メンテナンス

本体を自動で再起動する機能です。
①使用しない･毎日･毎週･毎月　から選択可能です。

(5) ハードディスク操作　HDD の診断結果を確認できます

(5)-1 SMART



ID	属性名	状態	旗	臨界値	値	最低	基本値
1	Raw_Read_Error_Rate	OK	15	6	102	100	3981800
2	Spin_Up_Time	OK	3	0	96	96	0
3	Start_Stop_Count	OK	50	20	100	100	27
4	Reallocated_Sector_Ct	OK	51	10	100	100	0
5	Seek_Error_Rate	OK	15	30	100	253	704519
6	Power_On_Hours	OK	50	0	100	100	665
7	Spin_Retry_Count	OK	19	97	100	100	0
8	Power_Cycle_Count	OK	50	20	100	100	23
9	End-to-End_Error	OK	50	99	100	100	0

(5)-2 ハードトラック点検　本機非対応

(5)-3 状態点検　本機非対応

(6) システムサービス

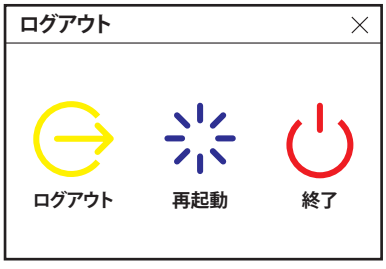
(6)-1 ストリーム暗号化　本機非対応

4.3.K　本機非対応

4.3.L　本機非対応

4.3.M　本機非対応

4.3.N　バックアップの進行状況が確認できます。

4.3.O　電源

ログオフ･再起動･終了　の各動作を行えます。